研究業績書

対象期間	2019 年 1 月 1 日～ 2020 年 3 月 31 日	
所属	職名	氏名
理工学部	准教授	青柳　憲昌

著書

著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月（西暦可）	発行所、発表雑誌（及び巻・号数）等の名称	編者・著者名	担当頁数
『今庄宿　―伝統的建造物群保存対策調査報告書―』、2019 年 3 月	共著	2019 年 3 月	南越前町観光まちづくり課発行	大場修・南竹磨・松田法子・福井宇洋・多米淑人・青柳憲昌・今出瑞穂・髙嶋猛・坪田叡伴・島田敏男	89–91, 103–105, 124–126, 175–180, 224–236, 239–245
『文化遺産と〈復元学〉―遺跡・建築・庭園復元の理論と実践―』	共著	2019 年 11 月	吉川弘文館	海野聡編、著者：青柳憲昌他	119–164
『日本近代の建築保存方法論――法隆寺昭和大修理と同時代の保存理念』	単著	2019 年 12 月	中央公論美術出版	青柳憲昌	

論文

著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月（西暦可）	発行所、発表雑誌（及び巻・号数）等の名称	編者・著者名	担当頁数
「旧北国街道今庄宿における近代町家の建築的特徴」	共著	2019 年 5 月	『民俗建築』	青柳憲昌・坪田叡伴・大場修	pp.8–17
「武田五一設計の法隆寺鵤文庫および宝蔵の建築史的価値」	単著	2019 年 6 月	『日本建築学会近畿支部研究報告集　計画系』	青柳憲昌	pp.573–576
「福井県旧今庄宿における近代町家の特徴と島﨑文四郎の仕事」	共著	2019 年 6 月	『日本建築学会近畿支部研究報告集　計画系』	坪田叡伴・青柳憲昌・大場修	pp.473–476
「1950 年代の建築関係誌に見る鉄筋コンクリート造による伝統表現手法」	共著	2019 年 6 月	『日本建築学会近畿支部研究報告集　計画系』	菅谷英之・青柳憲昌	pp.577–580
「滋賀県草津市・鞭崎神社本殿の建築的特徴」	共著	2019 年 9 月	『日本建築学会大会学術講演梗概集』	森本慶介・村田典彦・星野安治・青柳憲昌	751–752
「長江家住宅北棟の復原的考察」	その他	2019 年 9 月	『日本建築学会大会学術講演梗概集』	吉田成宏・青柳憲昌	851–852
「旧今庄宿大黒屋（主屋）の建築史的価値」	共著	2019 年 9 月	『日本建築学会大会学術講演梗概集』	青柳憲昌・坪田叡伴・大場修	857–856

研究発表等

発表題名	単著・共著の別	発行または発表の年月（西暦可）	発表会議名	発表者名
「法隆寺昭和大修理による金堂壁画防災対策と収蔵庫建築」	単著	2019 年 1 月	立命館大学歴史都市防災研究所定例研究会	青柳憲昌

「法隆寺金堂壁画保存活用委員会アーカイブ WG　中間報告」	単著	2019 年 1 月	第 4 回法隆寺金堂壁画保存活用委員会ワーキング･グループ（第 4 回）全体会合／法隆寺金堂壁画保存活用委員会（第 5 回）	青柳憲昌
「中間報告〈アーカイブ WG〉」	その他	2019 年 2 月	「―法隆寺シンポジウム―法隆寺金堂壁画、未来へ」	青柳憲昌

その他研究活動

研究業績名	単独・共同の別	発表場所等	研究期間（西暦可）
朝日新聞「収蔵庫に守られ　新たな亀裂なし　総合調査 3 年　中間報告」朝日新聞（全国版）2019 年 1 月 28 日 19 面（誌面にコメント掲載）	単独	朝日新聞（全国版）	2019 年 1 月 28 日～
朝日新聞「収蔵庫「大地震耐える」朝日新聞（全国版）2019 年 1 月 28 日 30 面（誌面にコメント掲載）	単独	朝日新聞（全国版）	2019 年 1 月 28 日～
「ディテールにみる戦後建築の伝統表現　第 2 回 吉田五十八　――戦後の『新興数寄屋』」青柳憲昌『ディテール』219 号、2019 年 1 月号、彰国社、pp.109–116	単独	雑誌『ディテール』（彰国社）	2019 年 1 月～
『奈良ホテル（本館）文化財的価値の調査報告書』西日本旅客鉄道株式会社近畿統括本部企画課・ジェイアール西日本コンサルタンツ株式会社、2019 年 2 月、p.11（建物構造に関する所見掲載）	その他	『奈良ホテル（本館）文化財的価値の調査報告書』	2019 年 2 月～
朝日新聞「樹脂による硬化　火の影響少なめ」朝日新聞（全国版）2019 年 3 月 10 日 27 面（誌面にコメント掲載）	単独	朝日新聞	2019 年 3 月 10 日
「ディテールにみる戦後建築の伝統表現　第 3 回 吉村順三　――民家のディテールを再編成する」青柳憲昌『ディテール』（220 号）、2019 年 4 月号、彰国社、pp.101–108	単独	雑誌『ディテール』（彰国社）	2019 年 4 月
「ディテールにみる戦後建築の伝統表現　第 4 回 吉田五十八　RC 造にふさわしい『伝統』とは何か」青柳憲昌『ディテール』（221 号）2019 年 6 月号、彰国社、pp.101–108	単独	雑誌『ディテール』（彰国社）	2019 年 6 月
「ディテールにみる戦後建築の伝統表現　第 5 回 前川國男　テクニカル・アプローチを経由した『伝統』との邂逅」青柳憲昌『ディテール』（222 号）2019 年 9 月号、彰国社、pp.121–128	単独	雑誌『ディテール』（彰国社）	2019 年 9 月
第 6 回日本建築学会近畿支部建築史部会研究会「近世中・後期寺院建築調査の最新成果」、2019 年 12 月 7 日、司会として、於・京都工芸繊維大学松ヶ崎キャンパス 1 号館	その他		2019 年 12 月 7 日

研究業績書

対象期間	2019 年 1 月 1 日～ 2020 年 3 月 31 日	
所属	職名	氏名
理工学部	教授	泉　知論

論文

著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月（西暦可）	発行所、発表雑誌（及び巻・号数）等の名称	編者・著者名	担当頁数
Example-based Face-image Restration for Block-noise Reduction	共著	2019 年 3 月	Journal of Image and Graphics, vol.7, no.1, pp.9–17, DOI 10.18178/joig.7.1.9–17	Suhail Hamdan, Yohei Fukumizu, Tomonori Izumi and Hironori Yamauchi	
獣害対策のための監視カメラ向けアライグマ検出器の構築と評価	共著	2019 年 5 月	画像電子学会誌, vol.48, no.2, pp.237–247	初田慎弥・大野真史・孟林・泉知論	

研究発表等

発表題名	単著・共著の別	発行または発表の年月（西暦可）	発表会議名	発表者名
Improved Face Image Super-resolution with Restricted Patch-searching Area	共著	2019 年 1 月	4th International Conference on Multimedia and Image Processing (ICMIP2019), 6-A0007, pp.29–35	Suhail Hamdan, Yohei Fukumizu, Tomonori Izumi and Hironori Yamauchi
FPGA ベース AI システムの開発	単著	2019 年 1 月	第 3 回 VLSI センターシンポジウム	泉知論
野生動物自動認識のためのデータベースの構築と深層学習の試行	共著	2019 年 3 月	画像電子学会第 288 回研究会予稿 18-03-12, pp.66–71	宮下洸大・初田慎弥・孟林・泉知論
土地利用別面積推定のための地図の自動領域分類手法	共著	2019 年 3 月	画像電子学会第 288 回研究会予稿 18-03-13, pp.72–78	高須柾樹・渡邉清威・孟林・泉知論
甲骨拓本からの自動文字抽出手法と支援環境	共著	2019 年 3 月	画像電子学会第 288 回研究会予稿 18-03-14, pp.79–84	渡邉清威・孟林・泉知論
モンテカルロ法に基づいた駒属性推定によるガイスターゲーム AI	共著	2019 年 3 月	the 3rd Game AI Tournament (GAT2019)	園田夕莉・泉知論
a Platform of Micro UGV for Small Scale Autonomous Driving System Using SoC FPGA	共著	2019 年 6 月	10th International Symposium on Highly Efficient Accelerators and Reconfigurable Technologies (HEART2019)	Yuya Kudo, Atsushi Takada, Takumi Sakai, Tomonori Izumi
SoC FPGA による小型自律走行車の位置推定と経路計画の試行	共著	2019 年 9 月	電子情報通信学会技術研究報告, vol.119, no.208, RECONF 2019–24, pp.19–24	工藤裕也・高田厚志・泉知論
An SoC-FPGA-Based Micro UGV with Localization and Motion Planning	共著	2019 年 12 月	2019 International Conference on Field-Programmable Technology (FPT'19), pp.469–472, DOI 10.1109/FPT.2019.00095	Yuya Kudo, Atsushi Takada, Yuta Ishida, Tomonori Izumi

研究業績書

対象期間	2019 年 1 月 1 日～ 2020 年 3 月 31 日	
所属	職名	氏名
理工学部	教授	伊津野　和行

その他研究活動			
研究業績名	単独・共同の別	発表場所等	研究期間（西暦可）
2017 九州豪雨による橋の被害	単独	立命館大学防災フロンティア研究センター 2017 年度第 2 回セミナー，メルパルク京都，京都市	2017 年 10 月 20 日

研究業績書

対象期間	2019 年 1 月 1 日～ 2020 年 3 月 31 日	
所属	職名	氏名
文学部	助教	宇佐美　智之

論文

著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月（西暦可）	発行所、発表雑誌（及び巻・号数）等の名称	編者・著者名	担当頁数
ソグドの都市：カフィル・カラ遺跡の調査から	単著	2019 年 8 月	考古学ジャーナル(730 巻)	宇佐美智之	36–38
中央アジア・オアシス地帯における都市の発達過程と空間構造に関する調査研究―サマルカンドおよびその周辺域を中心として―	単著	2019 年 11 月	高梨学術奨励基金年報：平成 30 年度助成研究成果報告	宇佐美智之	31–38

研究発表等

発表題名	単著・共著の別	発行または発表の年月（西暦可）	発表会議名	発表者名
ウズベキスタン、カフィル・カラ遺跡の発掘調査（2018 年）：シタデルを覆う火災層の調査	共著	2019 年 3 月	第 26 回西アジア発掘調査報告会	村上智見・ベグマトフアリシェル・ベルディムロドフアムリディン・ボゴモロフゲンナディー・寺村裕史・宇野隆夫・宇佐美智之

研究業績書

対象期間	2019 年 1 月 1 日～ 2020 年 3 月 31 日	
所属	職名	氏名
理工学部	教授	大窪　健之

著書

著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月（西暦可）	発行所、発表雑誌（及び巻・号数）等の名称	編者・著者名	担当頁数
Memory of 2015 Earthquake	共著	2020 年 1 月	Subhash Printing Press	サキャラタ・金度源・大窪健之	

論文

著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月（西暦可）	発行所、発表雑誌（及び巻・号数）等の名称	編者・著者名	担当頁数
複合連結式天守の国宝松本城における実践的な避難誘導方法に関する研究	共著	2019 年 2 月	日本建築学会計画系論文集（84 巻 756 号）	小西慶哉・大窪健之・金度源	507–515
Utilization of Historical Courtyards as Evacuation Sites during Gorkha Earthquake 2015 - At Patan old town, Kathmandu Valley, World Heritage Site in Nepal	共著	2019 年 6 月	XVII INTERNATIONAL FORUM 'LE VIE DEI MERCANTI', WORLD HERITAGE and LEGACY	Takeyuki OKUBO, Sanshiro TAKASUGI, Lata SHAKYA	
松本城と周辺地域の防災拠点としての能力評価に関する研究 －帰宅困難者への支援を想定して－	共著	2019 年 7 月	歴史都市防災論文 vol.13	大窪健之・植本幹大・金度源	123–130
伝統的空間における震災備蓄計画に関する研究 －世界遺産カトマンズ盆地・パタン地区を対象として－	共著	2019 年 7 月	歴史都市防災論文 vol.13	小川和馬･大窪健之･サキャラタ・金度源	107–114
ホース延長が可能な改良型市民消火栓の配置計画に関する基礎研究 ～模擬初期消火活動の実証実験と京都市清水周辺地域での改善配置計画を目指して～	共著	2019 年 7 月	歴史都市防災論文 vol.13	金度源・大和田智彦・大窪健之・林倫子	131–138
地域コミュニティにおける水害伝承の実態－滋賀県甲賀市信楽町勅旨区を対象として－	共著	2019 年 7 月	歴史都市防災論文 vol.13	林倫子・昌子知正・大窪健之・金度源	193–200
Dealing with multiple hazards and threats on cultural heritage sites: an assessment of 80 case studies	共著	2019 年 6 月	Disaster Prevention and Management, Emerald Publishing Limited	Lee Bosher, Dowon Kim, Takeyuki Okubo, Ksenia Chmutina, Rohit Jigyasu	DOI 10.1108/DPM-08-2018-0245
歴史地区におけるコミュニティの防災意識と地域特性に関する研究～京都市・上賀茂重要伝統的建造物群保存地区を対象として～	共著	2019 年 6 月	平成 31 年度日本建築学会近畿支部研究報告集，第 59 号・計画系	仲田直矢・大窪健之・金度源	5053
温泉街の防災資源を活かした帰宅困難者対策～道後温泉周辺地域を対象として～	共著	2019 年 6 月	平成 31 年度日本建築学会近畿支部研究報告集，第 59 号・計画系	白根史崇・大窪健之・金度源	7018

伝統的空間における震災備蓄計画に関する研究－世界遺産カトマンズ盆地・パタン地区を対象として－	共著	2019 年 6 月	平成 31 年度日本建築学会近畿支部研究報告集，第 59 号・計画系	小川和馬･大窪健之･サキャラタ・金度源	7024

その他研究活動

研究業績名	単独・共同の別	発表場所等	研究期間（西暦可）
招待講演：地域で取り組む防災まちづくり～歴史的建造物「群」の防災を考える～	単独	出石まちなみ保存会「防災学習会」、出石町役場	2019 年 1 月 17 日～
招待コメンテーター：防災工学（演習）	単独	京都工学院高校 3 年生クラス	2019 年 1 月 25 日～
講演：西日本豪雨災害による文化遺産被害の緊急報告	単独	日本建築学会・文化遺産災害対策小委員会拡大研究会	2019 年 1 月 25 日～
招待講演：Exercise of “Disaster Imagination Game (DIG)” ～ for Developing the Better Understanding of Disaster Risk Management Plan for Urban Cultural Heritage Complex with Community Participation ～	共同	“School-based Approach in Promoting Disaster Risk Mitigation for Cultural Heritage”, Kampong Ayer, 28–31 January 2019, Bandar Seri Begawan, Brunei Darussalam	2019 年 1 月 28 日 ～ 2019 年 1 月 31 日
招待講演：木の国における災害の歴史と防災の知恵	単独	住宅研究会主催・連続環境セミナー第 2 クール、JIA 愛知地域会	2019 年 5 月 11 日～
招待講演：歴史を活かした防災まちづくり	単独	彦根歴史的風致活用実行委員会、芹橋辻番所	2019 年 7 月 2 日、9 月 7 日、11 月 24 日～
防災ワークショップ運営：歴防 DIG ＠出石重伝建地区	単独（研究室）	豊岡市教育委員会、豊岡市出石支所	2019 年 7 月 16 日、23 日、30 日
招待講演：災害から文化遺産と地域を守る減災の知恵	単独	2019 年度前期インテリジェントアレー撰壇塾、関西生産性本部・監査経済連合会	2019 年 7 月 22 日～
招待講演：Disaster Mitigation of Urban Cultural Heritage & Case Project in Kiyomizu, Kyoto	単独	2019 年度マレーシア国別研修・MJIIT 防災修士コース本邦プログラム、JICA	2019 年 7 月 31 日～
講　演：The outline of Fire Water Supply Project for Earthquake Mitigation in Kiyomizu District	単独	ICOM 会　議・Disaster Risk Management Session	2019 年 9 月 4 日～
講演：JICA 課題別研修【世界遺産の適切な管理を通じた観光振興】A、B	単独	JICA	2019 年 10 月 4 日、12 月 5 日～
講演：インドネシア国家開発企画庁（BAPPENAS）防災研修「歴史都市防災研究所の取り組みと清水周辺地域の防災水利整備プロジェクト」	単独	インドネシア国家開発企画庁（BAPPENAS）	2019 年 11 月 25 日～
講演＋パネルディスカッション：「地域と協働で実施していく防災まちづくり」	単独	和歌山県ヘリテージマネージャー・スキルアップ講習会、和歌山県建築士会館	2019 年 12 月 7 日～
講演：「地域と協働で実施していく防災まちづくり」	単独	あいこうか生涯カレッジ（甲賀市）、立命館大学びわこくさつキャンパス	2019 年 12 月 21 日～

知的財産権

名称	出願人区分	発明人区分	出願番号	公開番号	登録（特許）番号	国
地域防災情報システム・警報システム，分割特許（2019 年 7 月 12 日）	共同	共同	2014–005324	6340197	6552677	日本
地域防災情報システム，分割特許（2019 年 7 月 12 日）	共同	共同	2014–206759	6325412	6552668	日本

研究業績書

対象期間	2019 年 1 月 1 日～ 2020 年 3 月 31 日	
所属	職名	氏名
理工学部	教授	岡井　有佳

著書

著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月（西暦可）	発行所、発表雑誌（及び巻・号数）等の名称	編者・著者名	担当頁数
地中海を旅する 62 章	分担執筆	2019 年 2 月	明石書店	岡井有佳	143–147

論文

著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月（西暦可）	発行所、発表雑誌（及び巻・号数）等の名称	編者・著者名	担当頁数
北海道奥尻島における津波と居住の歴史	共著	2019 年 7 月	歴史都市防災論文集（13 巻）	薬袋美奈子・岡井有佳	
無電柱化の実施優先度検討における路線評価に関する研究	共著	2019 年 9 月	2019 年度大会学術講演梗概集 F-1	小原雅人・馬場美智子・岡井有佳	201–202
水害リスクを考慮した居住誘導区域の設定に関する研究～広島県三原市の立地適正化計画に着目して	共著	2019 年 9 月	2019 年度大会学術講演梗概集 F-1	大橋克矢・馬場美智子・岡井有佳	723–724

研究業績書

対象期間	2019 年 1 月 1 日～ 2020 年 3 月 31 日	
所属	職名	氏名
理工学部	教授	小川　圭一

論文

著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月（西暦可）	発行所、発表雑誌（及び巻・号数）等の名称	編者・著者名	担当頁数
CVM を用いた金沢市内の文化遺産の防災対策に対する支払意思額に関する分析	共著	2019 年 7 月	歴史都市防災論文集 Vol.13	小川圭一・谷本雄太郎	147–154

研究発表等

発表題名	単著・共著の別	発行または発表の年月（西暦可）	発表会議名	発表者名
CVM を用いた金沢市内の文化遺産の防災対策に対する支払意思額に関する分析	共著	2019 年 7 月	第 13 回歴史都市防災シンポジウム	小川圭一・谷本雄太郎

研究業績書

対象期間	2019 年 1 月 1 日～ 2020 年 3 月 31 日	
所属	職名	氏名
政策科学部	助教	小野　聡

著書

著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月（西暦可）	発行所、発表雑誌（及び巻・号数）等の名称	編者・著者名	担当頁数
Neo-Simulation and Gaming Toward Active Learning (Translational Systems Sciences)	共著	2019 年 9 月	Springer	Satoru ONO, Michinori Kimura	408–417
A Study on Effect of “Information Mismatch” Simulation on Victims’ Quality of Life and Sense of Place in the Post-Disaster Period	共著	2019 年 9 月	Springer	Hiroari SHIMIZU, Ryoya TOMENO, Quirino CROSTA, Micaela MERUCRI, Satoru ONO, Hidehiko KANEGAE, Paola RIZZI	287–298

論文

著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月（西暦可）	発行所、発表雑誌（及び巻・号数）等の名称	編者・著者名	担当頁数
トピックモデルを用いた住民の居住継続意図と地域への愛着を規定する要因抽出―高島市朽木地区におけるアンケート調査を通して―	共著	2019 年 3 月	京都歴史都市災害研究（20 巻）	小野聡・木村道徳・上須道徳	13–21
環境情報を踏まえた参加型計画プロセスの設計 －既存研究と高島市朽木地区における実践を踏まえた考察－	共著	2019 年 3 月	環境科学会誌（32 巻 2 号）	小野聡・木村道徳	65–74

研究発表等

発表題名	単著・共著の別	発行または発表の年月（西暦可）	発表会議名	発表者名
Participative Planning for Public Transportation System in Japanese Population Decreasing Area	単著	2020 年 3 月	59th Annual Meeting of WRSA	Satoru ONO

研究業績書

対象期間	2019 年 1 月 1 日～ 2020 年 3 月 31 日	
所属	職名	氏名
政策科学部	教授	鐘ヶ江　秀彦

著書

著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月（西暦可）	発行所、発表雑誌（及び巻・号数）等の名称	編者・著者名	担当頁数
A Study on Effect of “Information Mismatch” Simulation on Victims’ Quality of Life and Sense of Place in the Post-Disaster Period, in Hamada Ryoju, Soranastaporn Songsri, Kanegae Hidehiko, Dumrongrojwatthana Pongchai, Chaisanit Settchai, Rizzi Paola and Demblekar Vinod (Eds.) “Neo-Simulation and Gaming Toward Active Learning”	共著	2019 年 11 月	Springer	Hiroari SHIMIZU, Ryoya TOMENO, Quirino CROSTA, Micaela MERUCRI, Satoru ONO, Hidehiko KANEGAE and Paola RIZZI	287–298
A Study on Gaming of Participatory Evacuation Planning in Tourist Area using Agent Simulation, in Hamada Ryoju, Soranastaporn Songsri, Kanegae Hidehiko, Dumrongrojwatthana Pongchai, Chaisanit Settchai, Rizzi Paola and Demblekar Vinod (Eds.) “Neo-Simulation and Gaming Toward Active Learning”	共著	2019 年 11 月	Springer	Sakai Kohei, Shimizu Hiroari, Toyoda Yusuke and Kanegae Hidehiko	276–286
Gaming Simulation as a Tool of Problem-based Learning for University Disaster Education, in Hamada Ryoju, Soranastaporn Songsri, Kanegae Hidehiko, Dumrongrojwatthana Pongchai, Chaisanit Settchai, Rizzi Paola and Demblekar Vinod (Eds.) “Neo-Simulation and Gaming Toward Active Learning”	共著	2019 年 11 月	Springer	Toyoda Yusuke and Kanegae Hidehiko	237–245
Neo-Simulation and Gaming Toward Active Learning	共著	2019 年 11 月	Springer	Hamada Ryoju, Soranastaporn Songsri, Kanegae Hidehiko, Dumrongrojwatthana Pongchai, Chaisanit Settachai and Rizzi Paola	

論文

著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月（西暦可）	発行所、発表雑誌（及び巻・号数）等の名称	編者・著者名	担当頁数
Integration Process of Indigenous and Scientific Knowledge for Disaster Risk Reduction in Mentawai Island	共著	2019 年 7 月	International Journal of Disaster Management（2 巻 1 号）	Zulfadrim, Toyoda Yusuke and Kanegae Hidehiko	1–12

Mitigating Simultaneous Returning Home after Large-Scale Earthquakes: Changing Tourists' Intentions to Stay through Public Support	共著	2019 年 12 月	IOP Conference Series: Earth and Environmental Science（361 巻）	Kohei Sakai, Yusuke Toyoda, Hidehiko Kanegae	012004

研究発表等

発表題名	単著・共著の別	発行または発表の年月（西暦可）	発表会議名	発表者名
A Study on Evacuation Method Using Agent Simulation Based on Tourists' Behavioral intention	共著	2019 年 7 月	Silk Cities 2019	Kohei Sakai, Hidehiko Kanegae
訪日外国人観光客の防災意識に関する研究：京都市を事例に	共著	2019 年 9 月	日本地域学会	酒井宏平・鐘ヶ江秀彦
先端技術が風土化した将来社会における地域防災	共著	2019 年 9 月	日本地域学会	小野聡・清水泰有・熊澤輝一・寺田匡宏・鐘ヶ江秀彦
SDGs の目標達成のために近未来へ向けて大学が貢献できることは何か	共著	2019 年 9 月	日本地域学会	鐘ヶ江秀彦
個人の地域防災行動意図における社会的手抜きの特徴に関する研究 - 個人の地域防災組織に対する信頼に着目して	共著	2019 年 9 月	日本地域学会	留野僚也・豊田祐輔・鐘ヶ江秀彦

研究業績書

対象期間	2019 年 1 月 1 日～ 2020 年 3 月 31 日	
所属	職名	氏名
理工学部	准教授	川﨑　佑磨

論文

著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月（西暦可）	発行所、発表雑誌（及び巻・号数）等の名称	編者・著者名	担当頁数
底泥を使用したポーラスコンクリートの閉鎖性環境下における水質への影響に関する研究	共著	2019 年 7 月	コンクリート工学年次論文集（41 巻 1 号）	下原怜也・川崎佑磨・佐藤圭輔・山田悠二	1475–1780
RI 計器の線源棒直下の空間がポーラスコンクリートの空隙率推定値に与える影響	共著	2019 年 7 月	コンクリート工学年次論文集（41 巻 1 号）	白川裕太・王子哲・山田悠二・川崎佑磨	1457–1462
銅スラグ細骨材とマンガンスラグ粗骨材およびフライアッシュを使用した重量コンクリートのフレッシュ性状および耐摩耗性の検討	共著	2019 年 7 月	コンクリート工学年次論文集（41 巻 1 号）	戸松功祐・山田悠二・川崎佑磨・横井克則	1547–1552
免震ゴム支承の内部損傷検知に関する数値解析的研究	共著	2019 年 9 月	日本地震工学会論文集（19 巻 5 号）	能勢侑希・伊津野和行・川崎佑磨	283–293

研究発表等

発表題名	単著・共著の別	発行または発表の年月（西暦可）	発表会議名	発表者名
線源棒先端の空間が RI 法で推定した空隙率に与える影響	共著	2019 年 5 月	2019 年度土木学会関西支部年次学術講演会	白川裕太･王子哲･山田悠二･川崎佑磨
電気化学ノイズ測定によるコンクリート中の鉄筋の腐食開始検出	共著	2019 年 9 月	2019 年度日本建築学会大会学術講演会	池沢樹・金侖美・福山智子・康田雄太・川崎佑磨

研究業績書

対象期間	2019 年 1 月 1 日～ 2020 年 3 月 31 日	
所属	職名	氏名
文学部	准教授	河角　直美

著書

著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月（西暦可）	発行所、発表雑誌（及び巻・号数）等の名称	編者・著者名	担当頁数
『地図で楽しむ京都の近代』	分担執筆	2019 年 2 月	風媒社	上杉和央・加藤政洋編著	22–29, 30–35, 36–45, 100–105
『文化情報学事典』	分担執筆	2019 年 12 月	勉誠出版	村上征勝監修	371–377, 667–671

論文

著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月（西暦可）	発行所、発表雑誌（及び巻・号数）等の名称	編者・著者名	担当頁数
近代京都における土地利用と地形環境	単著	2019 年	環太平洋文明研究（3 号）	河角直美	91–101

研究発表等

発表題名	単著・共著の別	発行または発表の年月（西暦可）	発表会議名	発表者名
Possibilities of the Spatial Humanities by Digital- archiving Old Photographs by using GIS	共同	2019 年 6 月	Freie Universität Berlin - Kobe University - Ritsumeikan University Joint Workshop on 'Landscape and New Media in Art, Film and Theatre'	Naomi Kawasumi, Hirotaka Sato, Masahiro Kato, and Keiji Yano
Digital archiving the space and memory of Kyoto across space and time using GIS	共同	2019 年 7 月	The 29th International Cartographic Conference and 18th General Assembly	Naomi KAWASUMI, Hirotaka SATO, Shunpei YAMAMOTO and Keiji YANO
近代京都における主要商店街の店舗復原―《祇園町》を事例とした方法の検討	共同	2019 年 11 月	2019 年人文地理学会大会	加藤政洋・河角直美

研究業績書

対象期間	2019 年 1 月 1 日～ 2020 年 3 月 31 日	
所属	職名	氏名
文学部	教授	神田　孝治

著書

著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月（西暦可）	発行所、発表雑誌（及び巻・号数）等の名称	編者・著者名	担当頁数
現代観光学	共編著	2019 年 1 月	新曜社	遠藤英樹・橋本和也・神田孝治編著	24–31, 32–41, 51–59, 60–62, 70–76, 210–217, 264–269

論文

著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月（西暦可）	発行所、発表雑誌（及び巻・号数）等の名称	編者・著者名	担当頁数
『Pokémon GO』が生じさせる移動と観光振興	単著	2019 年 3 月	立命館大学人文科学研究所紀要（119 号）	神田孝治	119–147

研究業績書

対象期間	2019 年 1 月 1 日～ 2020 年 3 月 31 日	
所属	職名	氏名
理工学部	准教授	金　度源

著書

著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月（西暦可）	発行所、発表雑誌（及び巻・号数）等の名称	編者・著者名	担当頁数
Memory of 2015 Earthquake	共著	2020 年 1 月	Subhash Printing Press	サキャラタ・金度源・大窪健之	

論文

著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月（西暦可）	発行所、発表雑誌（及び巻・号数）等の名称	編者・著者名	担当頁数
複合連結式天守の国宝松本城における実践的な避難誘導方法に関する研究	共著	2019 年 2 月	日本建築学会計画系論文集（84 巻 756 号）	小西慶哉・大窪健之・金度源	507–515
Consideration of issues and solutions related to the coexistence of cultural properties and the real life of the neighborhood	共著	2019 年 6 月	Disaster Prevention and Management（29 巻 1 号）	Yuko Ishida, Dowon Kim, Tatsuo Konegawa and Ryoichi Fukagawa	86–108
歴史地区におけるコミュニティの防災意識と地域特性に関する研究～京都市・上賀茂重要伝統的建造物群保存地区を対象として～	共著	2019 年 6 月	平成 31 年度日本建築学会近畿支部研究報告集（59 号）	仲田直矢・大窪健之・金度源	5053
温泉街の防災資源を活かした帰宅困難者対策～道後温泉周辺地域を対象として～	共著	2019 年 6 月	平成 31 年度日本建築学会近畿支部研究報告集（59 号）	白根史崇・大窪健之・金度源	7018
伝統的空間における震災備蓄計画に関する研究－世界遺産カトマンズ盆地・パタン地区を対象として－	共著	2019 年 6 月	平成 31 年度日本建築学会近畿支部研究報告集（59 号）	小川和馬･大窪健之･サキャラタ・金度源	7024
ホース延長が可能な改良型市民消火栓の配置計画に関する基礎研究 ～模擬初期消火活動の実証実験と京都市清水周辺地域での改善配置計画を目指して～	共著	2019 年 7 月	歴史都市防災論文集（13 巻）	金度源・大和田智彦・大窪健之・林倫子	131–138
松本城と周辺地域の防災拠点としての能力評価に関する研究 －帰宅困難者への支援を想定して－	共著	2019 年 7 月	歴史都市防災論文集（13 巻）	大窪健之・植本幹大・金度源	123–130
伝統的空間における震災備蓄計画に関する研究 －世界遺産カトマンズ盆地・パタン地区を対象として－	共著	2019 年 7 月	歴史都市防災論文集（13 巻）	小川和馬･大窪健之･サキャラタ・金度源	107–114
地域コミュニティにおける水害伝承の実態－滋賀県甲賀市信楽町勅旨区を対象として－	共著	2019 年 7 月	歴史都市防災論文集（13 巻）	林倫子・昌子知正・大窪健之・金度源	193–200
Dealing with multiple hazards and threats on cultural heritage sites: an assessment of 80 case studies	共著	2019 年 8 月	Disaster Prevention and Management, Emerald Publishing Limited（29 巻 1 号）	Lee Bosher, Dowon Kim, Takeyuki Okubo, Ksenia Chmutina, Rohit Jigyasu	109–128

研究発表等				
発表題名	単著・共著の別	発行または発表の年月（西暦可）	発表会議名	発表者名
UNDERSTANDING AND COMMUNICATING RISK TO CULTURAL HERITAGE THROUGH A DISASTER IMAGINATION GAME	共著	2019 年 1 月	SEAMEO-SPAFA, Workshop for Brunei	
歴史都市より学ぶ消防対策と防災計画：伝統的な減災の知恵と住民参加型消防計画の評価	共著	2019 年 2 月	韓国国立文化財研究所特別セミナー	
UNESCO Chair Programme on Cultural Heritage and Risk Management International Training Course (ITC) on Ritsumeikan University: Integrated Protection of Movable and Immovable Cultural Heritage from Disasters	共著	2019 年 3 月	4th Global Summit of Research Institutes for Disaster Risk Reduction Kyoto, Japan	
Capacity of the temples and shrines for using as evacuation places and shelters against the tsunami hazard: the case study for the coastal area of Muroto, Kochi-Prefecture in Japan	共著	2019 年 10 月	ATC19 Workshop for Heritage Geotechnical Engineering	

その他研究活動			
研究業績名	単独・共同の別	発表場所等	研究期間（西暦可）
京都市深草学区稲荷学区合同避難時運営訓練	単独		2019 年 4 月 ～ 2019 年 12 月
防災ワークショップ運営：歴防 DIG @出石重伝建地区	単独	豊岡市教育委員会、豊岡市出石支所	2019 年 7 月 1 日 ～ 2019 年 7 月 30 日
先斗町鍋屋町防災訓練	単独		2020 年 1 月～

研究業績書

対象期間	2019 年 1 月 1 日～ 2020 年 3 月 31 日	
所属	職名	氏名
理工学部	教授	小林　泰三

論文

著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月（西暦可）	発行所、発表雑誌（及び巻・号数）等の名称	編者・著者名	担当頁数
3 次元データを活用した盛土の締固め管理手法の検討	単著	2019 年 8 月	JACIC 情報、一般財団法人日本建設情報総合センター、第 120 号、Vol. 34, No.1	小林泰三	39–43
Effect on prevention of soil outflow on the back of abutment by cement soil stabilization	共著	2019 年 10 月	Proc. of 9th Int. Conf. on Geotechnique, Construction Materials and Environment (GEOMATE)	Y. Ishida, S. Takayama, Y. Satofuka, T. Kobayashi and R. Fukagawa	
山間集落における住民参加型斜面計測・モニタリングシステムの構築に関する研究－福井市高須町の事例	共著	2019 年 11 月	Kansai Geo-Symposium2019 論文集、地盤工学会関西支部	小山倫史・近藤誠司・小林泰三・芥川真一・佐藤　毅・中田勝行・下嶋一幸	
3 次元測量技術を活用した土の締固め管理手法の提案	共著	2019 年 12 月	令和元年「建設施工と建設機械シンポジウム」論文集・梗概集, 建設機械施工協会	小林泰三・土佐信一・西川祐矢・池永太一	109–112

その他研究活動

研究業績名	単独・共同の別	発表場所等	研究期間（西暦可）
災害調査報告書：平成 30 年 7 月豪雨による地盤災害調査報告書（福井県嶺北地域）	共同	公益社団法人福井県建設技術公社	2019

研究業績書

対象期間	2019 年 1 月 1 日～ 2020 年 3 月 31 日	
所属	職名	氏名
政策科学部	教授	桜井　政成

著書

著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月（西暦可）	発行所、発表雑誌（及び巻・号数）等の名称	編者・著者名	担当頁数
Globalizing Welfare: An Evolving Asian-european Dialogue	共著	2019 年 9 月	Edward Elgar Pub	Edited by Stein Kuhnle, Per Selle, Sven E. O. Hort Contributors: J.G. Andersen, H.K. Anheier, R.K.H Chan, L. Chen, R. Ervik, S. Hort, M. Kamikubo, P. Kettunen, N. Kildal, S. Kuhnle, H.-j. Kwon, M. Laperrière, S. Leibfried, T.S. Lindén, Å. Lundqvist, K. Martens, C. Offe, A.S. Orloff, Y. Otsuka, Y. Pan, K. Petersen, Y. Ren, M. Sakurai, U. Schimank, P. Selle, K. Strømsnes, Z. Wang, N. Zakharov	125–141

論文

著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月（西暦可）	発行所、発表雑誌（及び巻・号数）等の名称	編者・著者名	担当頁数
豪雨災害におけるボランティアの動向―発災からのトレンド分析から―	単著	2019 年 4 月	環境技術（48 巻 4 号）	桜井政成	190–194
サービスラーニングによる地域課題解決への貢献	単著	2019 年 9 月	調査研究情報誌 ECPR（43 巻 1 号）	桜井政成	32–37
Why did the new NPO corporations diffuse? Reason for the increasing social economy organizations in Japan	単著	2019 年 11 月	7th EMES Selected Conference Papers（ESCP-7EMES-15 巻）	Masanari Sakurai	

研究発表等

発表題名	単著・共著の別	発行または発表の年月（西暦可）	発表会議名	発表者名
Why Did the New NPO Corporations Diffuse? Reason for the Increasing Social Economy Organizations in Japan	単独	2019 年 1 月	Seoul National University Asia Center Special Lecture	Masanari Sakurai
災害ボランティアセンターにおける需給調整課題―大阪北部地震における茨木市諫事例―	共同	2019 年 3 月	第 5 回震災問題研究交流会	佐村河内力・桜井政成

Are disaster volunteers insufficient? An analysis of the volunteer coordination cases of flood disaster affected areas in Japan	単独	2019 年 7 月	ISTR Asia - Pacific Regional Conference	Masanari Sakurai
Why did the new NPO corporations diffuse? Reason for the increasing social economy organizations in Japan	単独	2019 年 7 月	7th EMES International Research Conference on Social Enterprise	Masanari Sakurai
サービスラーニングが地域にもたらす効果：文献レビューによるモデル化	単独	2019 年 11 月	日本福祉教育・ボランティア学習学会第 25 回大会	桜井政成

その他研究活動			
研究業績名	単独・共同の別	発表場所等	研究期間（西暦可）
「災害に特化　NPO 誕生」（インタビュー記事）	単独	毎日新聞（全国版　2 面）	2019 年 1 月 10 日～

研究業績書

対象期間	2019 年 1 月 1 日～ 2020 年 3 月 31 日	
所属	職名	氏名
文学部	助教	佐藤　弘隆

著書

著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月（西暦可）	発行所、発表雑誌（及び巻・号数）等の名称	編者・著者名	担当頁数
祇園祭の山鉾行事を支える現代京都の都市機能―祭礼とまちづくりの関係を問い直す―（山田浩之・赤崎盛久編著『京都から考える都市文化政策とまちづくり―伝統と革命の共存―』）	分担執筆	2019 年 11 月	ミネルヴァ書房	佐藤弘隆	72–92

論文

著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月（西暦可）	発行所、発表雑誌（及び巻・号数）等の名称	編者・著者名	担当頁数
京町家の空き家の現状と課題	共著	2019 年 3 月	統計（70 巻 2 号）	矢野桂司・佐藤弘隆	9–15

研究発表等

発表題名	単著・共著の別	発行または発表の年月（西暦可）	発表会議名	発表者名
近代京都における借家実態と祭礼運営－祇園祭の山鉾町を事例に－	単著	2019 年 3 月	日本地理学会 2019 年春季学術大会	佐藤弘隆
Giga-pixel multispectral imaging using commercially available digital camera	共著	2019 年 9 月	ICOM international committee for DOCumentation 2019	Masaru Tsuchida, Hirotaka Sato, Takahito Kawanishi, Kunio Kashino, and Keiji Yano
High resolution image retrieval, browsing and visual guide system for museum using smartphone	共著	2019 年 9 月	ICOM international committee for DOCumentation 2019	Masaru Tsuchida, Hirotaka Sato, Satoshi Imamura, Takahito Kawanishi, Kunio Kashino, and Keiji Yano
城下町祭礼を支える現代都市の機能―愛知県犬山市を事例に―	単著	2019 年 11 月	2019 年人文地理学会大会	佐藤弘隆

研究業績書

対象期間	2019 年 1 月 1 日～ 2020 年 3 月 31 日	
所属	職名	氏名
理工学部	教授	里深　好文

著書

著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月（西暦可）	発行所、発表雑誌（及び巻・号数）等の名称	編者・著者名	担当頁数
水理公式集［2018 年版］	分担執筆	2019 年 3 月	丸善出版㈱	土木学会　水工学委員会水理公式集編集小委員会	255–260, 265–266

論文

著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月（西暦可）	発行所、発表雑誌（及び巻・号数）等の名称	編者・著者名	担当頁数
LP データを用いた一次元解析データ作成手法提案―地形形状と渓流幅の影響―	共著	2019 年 1 月	砂防学会誌（71 巻 5 号）	梶山敦司・和田孝志・里深好文	24–31
土砂流入災害をもたらす降雨の空間分布特性と降雨モニタリングに関する研究	共著	2019 年 3 月	土木学会論文集 B1（水工学）（75 巻 1 号）	森泰樹・佐々木良・藤井昌隆・杉山友康・里深好文	1–14
線路への小規模土砂流入の危険度評価手法に関する研究	共著	2019 年 3 月	土木学会論文集 B1（水工学）（75 巻 1 号）	森泰樹・藤井昌隆・杉山友康・里深好文	31–48
噴火後 20 年を経過した雲仙普賢岳の火砕流堆積斜面における土石流発生を助長する地形・地質的条件	共著	2019 年 5 月	砂防学会誌（72 巻 1 号）	平川泰之・岡野和行・植野利康・里深好文・堤大三・宮田秀介	21–31
雲仙普賢岳・炭酸谷における土石流発生源への降雨流出応答	共著	2019 年 9 月	砂防学会誌（72 巻 3 号）	平川泰之・岡野和行・武石久佳・植野利康・里深好文	19–26
土砂災害警戒区域内の住宅地における土石流の危険度分布の検討	共著	2019 年 11 月	土木学会論文集 B1（水工学）（75 巻 2 号）	長谷川祐治・中谷加奈・海堀正博・里深好文	I_181–I_186
進行性崩壊による天然ダム決壊過程に関する現地実験	共著	2019 年 11 月	土木学会論文集 B1（水工学）（75 巻 2 号）	高山翔揮・星山博紀・宮田秀介・藤本将光・里深好文	I_847–I_852

研究発表等

発表題名	単著・共著の別	発行または発表の年月（西暦可）	発表会議名	発表者名
SLOPE FAILURE RISK ASSESSMENT MODELING USING TOPOGRAPHIC DATA AND NUMERICAL CALCULATION OF SOIL CONSERVATION BY TREE ROOT SYSTEMS	共著	2019 年 6 月	ISPRS Annals of the Photogrammetry, Remote Sensing and Spatial Information Sciences	Taiki Mori, Tomoyasu Sugiyama, Ikuya Hosooka, Makoto Nakata, Kazuyuki Okano, Yoshifumi Satofuka
Slope Failure risk assessment modeling using topographic data and numerical calculation of soil conservation by tree root systems	共著	2019 年 6 月	ISPRS Annals of the Photogrammetry, Remote Sensing and Spatial Information Sciences	Taiki Mori, Tomoyasu Sugiyama, Ikuya Hosooka, Makoto Nakata, Kazuyuki Okano, Yoshifumi Satofuka
Woody debris blocking conditions at bridges in mountainous streams	共著	2019 年 6 月	Debris-Flow Hazards Mitigation	Hasegawa, Y., Nakatani, K., Satofuka, Y.

Flume experiment on the influence of particle size distribution on sediment capturing efficiency of open-type steel Sabo dams	共著	2019 年 6 月	Debris-Flow Hazards Mitigation	Matsumoto, N., Uchida, T., Sakurai, W., Matsubara, T., Okuyama, R., Hina, J., Satofuka, Y.
Debris-flow behavior containing fine sediment considering phase shift	共著	2019 年 6 月	Debris-Flow Hazards Mitigation	Nakatani, K., Hasegawa, Y., Asano, Y., Satofuka, Y.
Numerical simulation for evaluationg the phase-shift on fine sediment in stony debris flows	共著	2019 年 6 月	Debris-Flow Hazards Mitigation	Uchida, T., Nishiguchi, Y., McArdell, B., Satofuka, Y.
Steel stakes to capture debris-wood on an impermeable type sabo dam	共著	2019 年 6 月	Debris-Flow Hazards Mitigation	Harada, N., Satofuka, Y.

研究業績書

対象期間	2019 年 1 月 1 日～ 2020 年 3 月 31 日	
所属	職名	氏名
衣笠総合研究機構	教授	鈴木　祥之

著書

著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月（西暦可）	発行所、発表雑誌（及び巻・号数）等の名称	編者・著者名	担当頁数
旧加悦町役場庁舎耐震改修検討委員会報告書　－旧加悦町役場庁舎の利活用と改修に関する調査研究報告書－	編著	2019 年 3 月		旧加悦町役場庁舎耐震改修検討委員会	全頁 420
伝統的構法のための木造耐震設計法－石場建てを含む木造建築物の耐震設計・耐震補強マニュアル－	編著	2019 年 6 月	学芸出版社	伝統的構法木造建築物設計マニュアル編集委員会	全頁 350
伝統的木造建築物の構造解析とこれからの木造建築の展望〈新たな耐震計算法の解説を中心として〉	共著	2019 年 6 月	特定非営利活動法人伝統木構造の会	鈴木祥之・長瀬　正	全頁 51
「伝統的構法のための木造耐震設計法」出版報告講演会（京都）	共著	2019 年 8 月	特定非営利活動法人緑の列島ネットワーク・伝統的構法木造建築物設計マニュアル編集委員会	鈴木祥之・齋藤幸雄・長瀬正・寺門宏之・中治弘行・後藤正美・佐藤英祐・向坊恭介	全頁 54

論文

著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月（西暦可）	発行所、発表雑誌（及び巻・号数）等の名称	編者・著者名	担当頁数
木材載荷ブロックを用いた伝統木造 T 字型仕口の回転めり込み特性と定式化	共著	2019 年 2 月	日本建築学会構造系論文集（84 巻 756 号）	棚橋秀光・鈴木祥之	227–236
伝統構法木造～耐震設計・耐震補強設計～	単著	2019 年 2 月	建築と社会（100 巻 1163 号）	鈴木祥之	46–47
石場建てを含む伝統的構法木造建築物の耐震設計法・耐震補強設計法	単著	2019 年 5 月	伝木（39 巻）	鈴木祥之	3–7
壁土の強度試験法の開発と壁土の強度特性	共著	2019 年 7 月	歴史都市防災論文集（13 巻）	山田耕司・中治弘行・後藤正美・鈴木祥之	61–68
土塗り壁の耐力を用いた土塗り小壁の骨格曲線の再評価	共著	2019 年 7 月	歴史都市防災論文集（13 巻）	山田耕司・中治弘行・長瀬正・鈴木祥之	209–214
伝統木造仕口の回転めり込み反力分布についての考察	共著	2019 年 7 月	歴史都市防災論文集（13 巻）	棚橋秀光・鈴木祥之	83–90
3 次元立体解析モデルを用いた旧加悦町役場庁舎の耐震性能評価に関する研究	共著	2019 年 7 月	歴史都市防災論文集（13 巻）	浅野陽彦・吉富信太・中治弘行・須田達・向坊恭介・佐藤英佑・鈴木祥之	15–22
与謝野町旧加悦町役場の基礎と外壁の実地調査と材料試験	共著	2019 年 7 月	歴史都市防災論文集（13 巻）	須田達・浦憲親・鈴木祥之	69–76

その他研究活動			
研究業績名	単独・共同の別	発表場所等	研究期間（西暦可）
伝統的木造建築物の構造解析とこれからの木造建築の展望〈新たな耐震計算法の解説を中心として〉	共同	東京都角筈区民ホール	2019 年 6 月 15 日 ～ 2019 年 6 月 15 日
伝統的構法のための木造耐震設計法出版報告講演会（京都）	共同	キャンパスプラザ京都　第 1 講義室	2019 年 8 月 9 日 ～ 2019 年 8 月 9 日

研究業績書

対象期間	2019 年 1 月 1 日～ 2020 年 3 月 31 日	
所属	職名	氏名
文学部	教授	高橋　学

論文

著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月（西暦可）	発行所、発表雑誌（及び巻・号数）等の名称	編者・著者名	担当頁数
環境史・土地開発史・災害史からみた災害発生メカニズム	単著	2019 年	環太平洋文明研究 3	高橋学	1–22
遺跡立地分析のための地形分類図の限界	単著	2019 年	考古学ジャーナル 723	高橋学	巻頭言
環境史からみた島嶼の災害リスクマネージメント	単著	2019 年	月刊地球 482、海洋出版	高橋学	644–651

研究発表等

発表題名	単著・共著の別	発行または発表の年月（西暦可）	発表会議名	発表者名
環境考古学からみた荒尾南遺跡	単著	2020 年 1 月	荒尾南遺跡研究会、大垣市スイトピア	高橋学
荒尾南遺跡からみた災害史	単著	2020 年 2 月	考古学研究会東海例会、大垣市文化ホール	高橋学

研究業績書

対象期間	2019 年 1 月 1 日～ 2020 年 3 月 31 日	
所属	職名	氏名
理工学部	教授	武田　史朗

研究発表等				
発表題名	単著・共著の別	発行または発表の年月（西暦可）	発表会議名	発表者名
公園デザイン様式「ストックホルムスタイル」の特徴と確立の経緯	共著	2019 年	2019 年度日本建築学会　近畿支部研究発表会	村田明子・武田史朗
農とレクリエーションを取り入れたエコロジカルインフラストラクチャの提案亀岡市における流域空間デザイン	共著	2019 年 9 月	2019 年度　日本建築学会大会（北陸）（デザイン発表会）	松田麗央・ウェンティン安・村田明子・武田史朗
自転車交通空間の再編による居場所としての駅空間の計画　淡路駅および周辺地域を対象として	共著	2019 年 9 月	2019 年度　日本建築学会大会（北陸）（デザイン発表会）	村田優美子・村田明子・武田史朗
東山慈照寺庭園における遮蔽縁分析をとおした展示空間設計手法の提案	共著	2019 年 9 月	2019 年度　日本建築学会大会（北陸）（デザイン発表会）	山中梢子・村田明子・武田史朗
公民学間連携施設によるびわこ文化公園都市の再編成	共著	2019 年 9 月	2019 年度　日本建築学会大会（北陸）（デザイン発表会）	松宮周平・村田明子・武田史朗

研究業績書

対象期間	2019 年 1 月 1 日～ 2020 年 3 月 31 日	
所属	職名	氏名
政策科学部	准教授	豊田　祐輔

著書

著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月（西暦可）	発行所、発表雑誌（及び巻・号数）等の名称	編者・著者名	担当頁数
A Study on Gaming of Participatory Evacuation Planning in Tourist Area using Agent Simulation, in Hamada Ryoju, Soranastaporn Songsri, Kanegae Hidehiko, Dumrongrojwatthana Pongchai, Chaisanit Settchai, Rizzi Paola and Demblekar Vinod (Eds.) “Neo-Simulation and Gaming Toward Active Learning”	共著	2019 年	Springer Science Business Media	Sakai Kohei, Shimizu Hiroari, Toyoda Yusuke and Kanegae Hidehiko	247–256
Gaming Simulation as a Tool of Problem-based Learning for University Disaster Education, in Hamada Ryoju, Soranastaporn Songsri, Kanegae Hidehiko, Dumrongrojwatthana Pongchai, Chaisanit Settchai, Rizzi Paola and Demblekar Vinod (Eds.) “Neo-Simulation and Gaming Toward Active Learning”	共著	2019 年	Springer, Singapore	Toyoda Yusuke and Kanegae Hidehiko	237–245
「「コミュニティ防災ゲーミング：地震編」でコミュニティ防災を体験しよう！」「ゲームの構造、役割、ルールを考えてゲーミングをつくる！」近藤敦、豊田祐輔、宮脇昇、吉永潤編『大学の学びを変えるゲーミング』	共編著	2020 年	晃洋書房	豊田祐輔	40–62, 169–180, 206–20

論文

著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月（西暦可）	発行所、発表雑誌（及び巻・号数）等の名称	編者・著者名	担当頁数
PBL 型短期間国際ワークショップによる社会人基礎力成長モデルに関する研究	単著	2019 年 3 月	地域情報研究 - 立命館大学地域情報研究所紀要 -（8 号）	豊田祐輔	98–109
Integration Process of Indigenous and Scientific Knowledge for Disaster Risk Reduction in Mentawai Island	共著	2019 年 7 月	International Journal of Disaster Management（2 巻 1 号）	Zulfadrim, Toyoda Yusuke and Kanegae Hidehiko	1–12
A Framework of Simulation and Gaming for Enhancing Community Resilience against Large-scale Earthquakes: Application for Achievements in Japan	単著	2020 年 1 月	Simulation & Gaming（forthcoming 巻）	Toyoda Yusuke	（Online First, 32p）
Analysis of Technology Impact on Culture in Indigenous Community: Case Study of Mentawai Island	共著	2020 年	Selected Paper of the 2nd South East Asian Academic Forum on Sustainable Development (SEA-AFSID) 2018	Zulfadrim, Toyoda Yusuke and Kanegae Hidehiko	forthcoming

研究発表等				
発表題名	単著・共著の別	発行または発表の年月（西暦可）	発表会議名	発表者名
地域防災行動促進に向けた避難協力ゲーミングの学習効果に関する研究：被災前後の個人の道具生に着目した防災学習手法の検討	共著	2019 年 5 月	日本シミュレーション＆ゲーミング学会全国大会論文報告集 2019 年春号	留野僚也・清水泰有・豊田祐輔・小野聡
Gaming Simulation for Managing Stranded Persons and Residents around Terminal Stations after Large-Scale Earthquakes	共著	2019 年 8 月	“50th Conference of the International Simulation and Gaming Association”	Toyoda Yusuke, Sakai Kohei and Kanegae Hidehiko
個人の地域防災行動意図における社会的手抜きの特徴に関する研究－個人の地域防災組織に対する信頼に着目して	共著	2019 年 9 月	『日本地域学会第 57 回年次大会学術発表論文集』（Webpage）	留野僚也・豊田祐輔・鐘ヶ江秀彦
Gaming Simulation for Community-Based Disaster Risk Reduction: Disaster Education Tool to Increase Earthquake Coping Capacity of School Students in Malaysia	共著	2019 年 11 月	日本シミュレーション＆ゲーミング学会全国大会論文報告集 2019 年秋号、10–17 頁	Mohd Hermy bin Abdullah・豊田祐輔

その他研究活動			
研究業績名	単独・共同の別	発表場所等	研究期間（西暦可）
密集市街地における地域防災のすすめ	単独	『豊中市島田公民分館地域出前講座』豊中市共同利用施設島田センター、豊中市	2019 年 2 月 24 日 ～ 2019 年 2 月 24 日
地域における防災学習への取り組み	単独	『摂津市生涯学習合同研修会』摂津市	2019 年 3 月 4 日 ～ 2019 年 3 月 4 日
防災ゲーム～防災について楽しく学ぼう～（大阪府土木事務所共同）	共同	いばらき×立命館 DAY2018（立命館大学主催）	2019 年 5 月 19 日 ～ 2019 年 5 月 19 日
Challenges of Increasing Disaster Awareness of Foreign Tourists	単独	“IPRO (Interprofessional Project) 497–313（course provided by Illinois Institute of Technology” Ritsumeikan University, Ritsumeikan University, in Osaka	2019 年 6 月 11 日 ～ 2019 年 6 月 11 日
クロストーク参加	共同	OIC キャンパス事務局『災害に強いキャンパスを創るミニシンポジウム：そなえるキャンパス』、立命館大学大阪いばらきキャンパス、茨木市、大阪	2019 年 6 月 18 日 ～ 2019 年 6 月 18 日
Academic System Which Links to City Development	単独	Community Organizations Development Institute (CODI) “Capacity Development Program for Board of Committee and Executive Officials of CODI” Osaka Ibaraki Campus of Ritsumeikan University, Ibaraki City, Osaka	2019 年 7 月 15 日 ～ 2019 年 7 月 15 日
地震のメカニズムと南海トラフ巨大地震	単独	茨木市市民活動センター『いばらき市民大学南海トラフ巨大地震：被害想定と対策について』、福祉文化会館（オークシアター）、茨木市、大阪	2019 年 7 月 19 日 ～ 2019 年 7 月 19 日

立命館大学豊田ゼミでの楽しさと学びを両立させる防災ゲーム作り（ポスター展示）	単独	NPO 法 人 ROJE（Renaissance Of Japanese Education）『防災実践交流会 2019・夏－「知る」「学ぶ」からやってみるへ』キャンパスプラザ京都、京都市、京都	2019 年 8 月 11 日 ～ 2019 年 8 月 11 日
防災の日に知りたい　災害増える日本の“リスク・コミュニケーション不足”問題	単独	shiRUto	2019 年 8 月 23 日 ～ 2019 年 8 月 23 日
まちの国際化と防災	単独	AsiaWeek 2019（立命館大学主催；参加者：一般市民）立命館大学大阪いばらきキャンパス、日本：大阪	2019 年 10 月 13 日 ～ 2019 年 10 月 13 日
防災ゲーム	単独	令和元年度第二回潮江東地区連合防災会フェスタ（主催：潮江東地区連合防災会；参加者：一般市民）高知市立潮江東小学校、高知	2019 年 11 月 3 日 ～ 2019 年 11 月 3 日
防災釣りゲーム	単独	令和元年度東山田地区連合自治会防災訓練（東山田地区連合自治会主催；参加者：地区内住民）吹田市立東山田小学校、大阪	2019 年 11 月 24 日 ～ 2019 年 11 月 24 日
Evaluating short-term trainings: On how to learn, how to work together and how to apply	単独	“Professional Human Resource Development IV (PHRD-IV) BAPPENAS Short-term Training on Impact Assessment” held by JICE (Japan International Cooperation Center), participated mainly by Indonesian governmental staff, Biwako-Kuwatsu Campus of Ritsumeikan University, Kusatsu City, Shiga	2019 年 11 月 25 日 ～ 2019 年 11 月 25 日
Community-based Disaster Mitigation	単独	“Disaster Management Cooperation and Planning Training: The Centre of Planners’ Development, Education and Training (CPDET), National Development Planning Agency (Bappenas) Republic of Indonesia” held by the Institute of Disaster Mitigation for Urban Cultural Heritage of Ritsumeikan University, participated mainly by Indonesian governmental staff, Institute of Disaster Mitigation for Urban Cultural Heritage of Ritsumeikan University, Kyoto City, Kyoto	2019 年 11 月 26 日 ～ 2019 年 11 月 26 日

研究業績書

対象期間	2019 年 1 月 1 日～ 2020 年 3 月 31 日	
所属	職名	氏名
情報理工学部	教授	仲谷　善雄

論文

著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月（西暦可）	発行所、発表雑誌（及び巻・号数）等の名称	編者・著者名	担当頁数
Validated Animated Pictograms for the Advance Design of a Disaster Assistance Application	共著	2019 年 2 月	IEEJ Transactions on Electronics, Information and Systems（139 巻 2 号）	Luis Ernesto Dominguez-Rios, Tomoko Izumi, Takayoshi Kitamura and Yoshio Nakatani	170–179
Evaluation of the Aid Link Generation System for a Disaster Management Platform	共著	2019 年 3 月	IEEJ Transactions on Electronics, Information and Systems（139 巻 3 号）	Luis Ernesto Dominguez-Rios, Tomoko Izumi, Takayoshi Kitamura and Yoshio Nakatani	247–258
児童を対象とした振動型経路指示システムにおける振動角度と有用性の評価	共著	2019 年 5 月	ヒューマンインタフェース学会論文誌（21 巻 2 号）	安井友徳・北村尊義・泉朋子・仲谷善雄	33–44

研究発表等

発表題名	単著・共著の別	発行または発表の年月（西暦可）	発表会議名	発表者名
避難行動を誘発するためのモバイル端末上での情報表現に関する検討	共著	2019 年 3 月	情報処理学会第 81 回全国大会	安井友徳・北村尊義・仲谷善雄
マルチタスク作業時の負担軽減に香りが及ぼす影響の検討	共著	2019 年 3 月	情報処理学会第 81 回全国大会	永山大貴・北村尊義・仲谷善雄
Proposal of Digital Mirror Signage and AR Pictogram for Follow Me Evacuation Guidance	共著	2019 年 7 月	21th International Conference on Human-Computer Interaction. (HCI International 2019)	Takayoshi Kitamura, Kazumi Yasui and Yoshio Nakatani
避難行動を誘発するための災害情報に関するテキスト表現の比較	共著	2019 年 8 月	電気学会第 79 回情報システム研究会	安井友徳・北村尊義・泉朋子・仲谷善雄
Evaluation of a Vibration-based Route Indication for Children Who are Not Familiar with Maps	共著	2019 年 10 月	2019 IEEE 8th Global Conference on Consumer Electronics (IEEE GCCE 2019)	Tomonori Yasui, Takayoshi Kitamura, Tomoko Izumi and Yoshio Nakatani

その他研究活動

研究業績名	単独・共同の別	発表場所等	研究期間（西暦可）
心理を考慮したシステム設計法～認知工学的アプローチ～	単独	ヒューマンインタフェース学会第 10 回特別講演会（同志社大学今出川キャンパス良心館）	2019 年 2 月 28 日～ 2019 年 2 月 28 日
安全へのレジリエンスアプローチ	単独	三菱電機技報、93 巻 7 号	2019 年 7 月 20 日～ 2019 年 7 月 20 日

研究業績書

対象期間	2019 年 1 月 1 日～ 2020 年 3 月 31 日	
所属	職名	氏名
衣笠総合研究機構	教授	狭間　恵三子

論文

著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月（西暦可）	発行所、発表雑誌（及び巻・号数）等の名称	編者・著者名	担当頁数
新たな歴史文化都市・堺を目指して	共著	2019 年 11 月	一般財団法人日本地域開発センター，『地域開発』，通巻 631 号	梅原利之・狭間恵三子	pp.30–34

その他研究活動

研究業績名	単独・共同の別	発表場所等	研究期間（西暦可）
まちづくりと情報発信	単独	2019 自治体学会堺大会プレ大会基調講演	2019 年 5 月 25 日
歴史文化を活かした個性あるまちづくり	単独	奈良ロータリークラブ・奈良大宮ロータリークラブ合同例会	2019 年 10 月 10 日

研究業績書

対象期間	2019 年 1 月 1 日～ 2020 年 3 月 31 日	
所属	職名	氏名
文学部	准教授	花岡　和聖

著書

著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月（西暦可）	発行所、発表雑誌（及び巻・号数）等の名称	編者・著者名	担当頁数
増減（石川義孝編『地図でみる日本の外国人　改訂版』）	分担執筆	2019 年 1 月	ナカニシヤ出版	花岡和聖	6–7

論文

著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月（西暦可）	発行所、発表雑誌（及び巻・号数）等の名称	編者・著者名	担当頁数
『歴史地名辞書データ』を用いた集落地名の地域性の可視化	単著	2019 年 7 月	歴史都市防災論文集（13 巻）	花岡和聖	185–192
近年のオーストラリアにおける新規流入移民の居住地分布―オーストラリアの国勢調査資料を用いた分析―	単著	2020 年 3 月	立命館文學	花岡和聖	印刷中

受賞学術賞

授与機関名	受賞名	タイトル	受賞年月（西暦可）
日本ヒートアイランド学会	日本ヒートアイランド学会論文賞		2019 年 6 月

研究業績書

対象期間	2019 年 1 月 1 日～ 2020 年 3 月 31 日	
所属	職名	氏名
理工学部	教授	平尾　和洋

論文

著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月（西暦可）	発行所、発表雑誌（及び巻・号数）等の名称	編者・著者名	担当頁数
京都市正親学区の事前復興計画を想定した建築物の類型化及び延焼シミュレーションと防火連担長屋の提案	共著	2019 年 7 月	歴史都市防災論文集（vol.13 巻）	小玉寧人・平尾和洋	115–122
京都市西陣地区の事前復興計画を想定した街並みエレメント選定及びそれを用いた街並み構成法の比較	共著	2019 年 7 月	歴史都市防災論文集（報告）（vol.13 巻）	遠藤直久・西村祐香・平尾和洋	215–222

研究発表等

発表題名	単著・共著の別	発行または発表の年月（西暦可）	発表会議名	発表者名
デザイン行為におけるヤヌス的思考のカプセル化に着目した発想・設計支援ツールの作成とその有効性に関する省察	共著	2019 年 6 月	日本建築学会近畿支部研究報告集第 59 号	小林稜治・坂下太一・遠藤直久・平尾和洋
建築設計プロセスにおける対話の中の省察に関する考察その 2	共著	2019 年 6 月	日本建築学会近畿支部研究報告集第 59 号	遠藤直久・奥浩・平尾和洋
建築設計プロセスにおける対話の中の省察に関する考察その 1	共著	2019 年 6 月	日本建築学会近畿支部研究報告集第 59 号	斎藤翔太・奥浩・遠藤直久・平尾和洋
京都市正親学区の事前復興計画を想定した建築物の類型化及び延焼シミュレーションと防火連担長屋の提案	共著	2019 年 6 月	日本建築学会近畿支部研究報告集第 59 号	田中勇気・小玉寧人・平尾和洋
京都市西陣地区の事前復興計画を想定した街並みエレメントの選定及びそれを用いた街並み構成の評価	共著	2019 年 6 月	日本建築学会近畿支部研究報告集第 59 号	内貴美侑・西村祐香・遠藤直久・平尾和洋
建築設計プロセスにおける対話の中の省察に関する考察その 2	共著	2019 年 9 月	日本建築学会大会学術講演梗概集	山崎良祐・奥浩・遠藤直久・平尾和洋
建築設計プロセスにおける対話の中の省察に関する考察その 1	共著	2019 年 9 月	日本建築学会大会学術講演梗概集	川上樹・奥浩・遠藤直久・平尾和洋
デザイン行為におけるヤヌス的思考のカプセル化に着目した発想・設計支援ツールの作成とその有効性に関する考察	共著	2019 年 9 月	日本建築学会大会学術講演梗概集	山本琴乃・坂下太一・遠藤直久・平尾和洋
京都市西陣地区の事前復興計画を想定した街並みエレメントの選定及びそれを用いた街並み構成の評価	共著	2019 年 9 月	日本建築学会大会学術講演梗概集	三輪晋也・西村裕香・平尾和洋・遠藤直久
京都市正親学区の事前復興計画を想定した建築物の類型化及び延焼シミュレーションと防火連担長屋の提案	共著	2019 年 9 月	日本建築学会大会学術講演梗概集	中村魁・小玉寧人・平尾和洋・遠藤直久

その他研究活動

研究業績名	単独・共同の別	発表場所等	研究期間（西暦可）
心斎橋阿呍	共同	建築と社会 No.1163	2019 年 2 月～

研究業績書

対象期間	2019 年 1 月 1 日～ 2020 年 3 月 31 日	
所属	職名	氏名
理工学部	教授	深川　良一

論文

著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月（西暦可）	発行所、発表雑誌（及び巻・号数）等の名称	編者・著者名	担当頁数
Consideration of issues and solutions related to the coexistence of cultural properties and the real life of the neighborhood	共著	2019 年 5 月	Emerald insight, Disaster Prevention and Management, Vol. 29, No. 1.	Yuko Ishida・Dowon Kim・Tatsuo Konegawa・Ryoichi Fukagawa	pp. 86–108
Liquefaction analysis of verification on the influence of underground structure	共著	2019 年 6 月	Int. J. of GEOMATE, Vol.16, Issue 58	Keita Sugito, Tetsuya Okano and Ryoichi Fukagawa	pp.104–109
Calculation formula for pullout resistance exerted by open-wing-type ground anchor	共著	2019 年 6 月	Int. J. of GEOMATE, Vol.16, Issue 58	Kota Kono, Akihisa Nakahashi and Ryoichi Fukagawa	pp.110–115
Investigation of cylindrical specimen collapse behavior on the experiment and 3D smoothed-particle hydrodynamic analysis	共著	2019 年 6 月	Int. J. of GEOMATE, Vol.16, Issue 58	Tetsuya Okano, Yukiko Sumi, Tsutomu Matsuo and Ryoichi Fukagawa	pp.117–122
熊野参詣道伊勢路「横垣峠」を対象とした観光防災マップの作製	共著	2019 年 7 月	歴史都市防災論文集［報告］、Vol.13	石田優子・今村聡・古根川竜夫・深川良一・中谷友樹	pp.245–252
Effect of prevention of soil outflow on the back of abutment by cement soil stabilization,	共著	2019 年 11 月	Proc. of the 9th Int. Conf. on Geotechnique, Construction Materials and Environment	Yuko Ishida, Shoki Takayama, Kazuyuki Izuno, Yoshifumi Satofuka, Taizo Kobayashi and Ryoichi Fukagawa	pp.1–7
拡翼アンカー工法の開発に関する基礎的研究	共著	2019 年 11 月	Kansai Geo-Symposium 2019 論文集,（公社）地盤工学会関西支部	部谷遼平・河野恒太・灘とも子・小林泰三・深川良一	4 頁

研究発表等

発表題名	単著・共著の別	発行または発表の年月（西暦可）	発表会議名	発表者名
斜面多点監視を可能にする省電力低価格な傾斜感知器の開発	共著	2019 年 7 月	公益社団法人地盤工学会、第 54 回地盤工学研究発表会概要集	石田優子・平岡伸隆・繁田知美・深川良一

知的財産権

名称	出願人区分	発明人区分	出願番号	公開番号	登録（特許）番号	国
弾性体を利用した孔内載荷試験装置					特許第 2571419 号	

研究業績書

対象期間	2019 年 1 月 1 日～ 2020 年 3 月 31 日	
所属	職名	氏名
理工学部	准教授	福水　洋平

論文

著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月（西暦可）	発行所、発表雑誌（及び巻・号数）等の名称	編者・著者名	担当頁数
Improved Face Image Super-resolution with Restricted Patch-searching Area	共著	2019 年 1 月	Proceedings of 4th International Conference of Multimedia and Image Processing	S. Hamdan, Y. Fukumizu, T. Izumi, and H. Yamauchi	184–190
Illuminance-robust semipermanent 2D porous code	共著	2019 年 1 月	Proceedings of International Conference on Electronics, Information, and Communication	K. Kimura, A. Ohashi, Y. Fukumizu, T. Douseki	
Example-based Face-image Restoration for Block-noise Reduction	共著	2019 年 3 月	Proceedings of 3rd International Conference on Frontiers of Image Processing	S. Hamdan, Y. Fukumizu, T. Izumi, and H. Yamauchi	
Example-based Face-image Restoration for Block-noise Reduction	共著	2019 年 3 月	Journal of Image and Graphics（7 巻 1 号）	Suhail Hamdan, Yohei Fukumizu, Tomonori Izumi, Hironori Yamauchi	9–17

研究発表等

発表題名	単著・共著の別	発行または発表の年月（西暦可）	発表会議名	発表者名
Improved Face Image Super-resolution with Restricted Patch-searching Area	共著	2019 年 1 月	The 4th International Conference on Multimedia and Image Processing	S. Hamdan, Y. Fukumizu, T. Izumi, H. Yamauchi
Illuminance-robust semipermanent 2D porous code	共著	2019 年 1 月	International Conference on Electronics, Information, and Communication 2019	K. Kimura, A. Ohashi, Y. Fukumizu, T. Douseki
Example-based Face-image Restoration for Block-noise Reduction	共著	2019 年 3 月	The 3rd International Conference on Frontiers of Image Processing	S. Hamdan, Y. Fukumizu, T. Izumi, H. Yamauchi

研究業績書

対象期間	2019 年 1 月 1 日～ 2020 年 3 月 31 日	
所属	職名	氏名
理工学部	准教授	福山　智子

論文

著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月（西暦可）	発行所、発表雑誌（及び巻・号数）等の名称	編者・著者名	担当頁数
Basic Study on Corrosion Progression in High Nickel Weathering Steel by Simulated Liquid Test	共著	2019 年 7 月	日本コンクリート工学会年次論文集	Emel Ken BENITO・上野敦・福山智子	
断面修復コンクリートにおける水分移動に関する実験的研究	共著	2019 年 7 月	日本コンクリート工学会年次論文集	金侖美・千歩修・谷口誠・福山智子	

研究発表等

発表題名	単著・共著の別	発行または発表の年月（西暦可）	発表会議名	発表者名
セルフセンシング構造物への適用を指向したカーボンナノチューブ混和セメントペーストの基礎的物性	共著	2019 年 9 月	日本建築学会年次大会	森井智月・福山智子・山田悠二
片面吸水凍結融解試験による断面修復コンクリートの付着強度変化	共著	2019 年 9 月	日本建築学会年次大会	金侖美・千歩修・谷口誠・福山智子
電気化学ノイズ測定によるコンクリート中の鉄筋の腐食開始検出	共著	2019 年 9 月	日本建築学会年次大会	池沢樹・金侖美・福山智子・康田雄太・川崎佑磨
塩水片面吸水凍結融解試験を行った断面修復コンクリートの修復界面における水分移動性状	共著	2019 年 9 月	日本建築学会年次大会	前中郁哉・金侖美・千歩修・谷口誠・福山智子
プレストレストコンクリートの誘電緩和測定を利用した欠陥の検出に関する電極配置の影響	共著	2019 年 9 月	日本建築学会年次大会	福山智子・金侖美・佐光正和・牛渡裕二・川瀬良司
凍害劣化程度の異なるコンクリートおよび断面修復材の温度変化によるひずみ変化	共著	2019 年 5 月	セメント技術大会	金侖美・千歩修・谷口誠・福山智子

研究業績書

対象期間	2019 年 1 月 1 日～ 2020 年 3 月 31 日	
所属	職名	氏名
理工学部	助教	藤井　健史

論文

著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月（西暦可）	発行所、発表雑誌（及び巻・号数）等の名称	編者・著者名	担当頁数
丸亀城の天守および石垣の見え方に関する定量的分析：景観的被害を加味した文化財防災の検討に向けて	共著	2019 年 7 月	歴史都市防災論文集（13 巻）	藤井健史・藤井芙美佳	139–146
駅から街に出る際のシークエンス景観における景観構成要素の可視率と開放度に関する研究	共著	2019 年 12 月	第 42 回情報・システム・利用・技術シンポジウム論文集	藤井健史・東山昂平	298–301
GPGPU を用いた交差判定式全方位可視率計算の超高速化－緑視率計算と植栽計画指標検討への応用－	共著	掲載決定	日本建築学会技術報告集（巻未定）	藤井健史・山田悟史	頁未定

研究発表等

発表題名	単著・共著の別	発行または発表の年月（西暦可）	発表会議名	発表者名
丸亀城周辺街路における天守および石垣の見え方に関する定量的考察	単著	2019 年 9 月	日本建築学会大会（北陸）学術講演会	藤井健史
道端の空奏ジャズ文化発信のための演奏拠点	共著	2019 年 9 月	日本建築学会大会（北陸）デザイン発表会	原田陽介・藤井健史・及川清昭
境界をほどく器　スポーツ・地域・環境がひとつながりに溶け合うスタジアムパーク	共著	2019 年 9 月	日本建築学会大会（北陸）デザイン発表会	隅谷悠貴・藤井健史
「草津の魅力」を再発見！ ～草津市内に点在する歴史資産を繋ぐ保存・活用手法の提案～	共著	2019 年 11 月	環びわこ大学・地域コンソーシアム・大学地域交流フェスタ 2019	藤井健史・青柳憲昌・及川清昭・草津市教育委員会歴史文化財課

その他研究活動

研究業績名	単独・共同の別	発表場所等	研究期間（西暦可）
草津いいもの探しツアーを考えよう！～「歩いて巡りたくなる地域のアイデア」をバス＋徒歩で実現可能に	共同	令和元年度第 6 回アーバンデザインセミナー , アーバンデザインセンターびわこくさつ	2019 年 9 月 20 日
「くさつ歴史健幸散策」のための路面標示デザインの提案　－草津の歴史に思いを馳せる歩行者ネットワークの形成に向けて－	単独	UDCBK 社会実験準備事業	2019 年 6 月 21 日～ 2020 年 2 月 28 日

研究業績書

対象期間	2019 年 1 月 1 日～ 2020 年 3 月 31 日	
所属	職名	氏名
理工学部	准教授	藤本　将光

論文

著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月（西暦可）	発行所、発表雑誌（及び巻・号数）等の名称	編者・著者名	担当頁数
斜面基礎補強時における網状鉄筋工の有効的な設置方法に関する基礎的研究	共著	2019 年 11 月	Kansai Geo-Symposium 2019 論文集	藤本将光・原田紹臣・山本和輝・高瀬蔵・玉木健太・小西成治・疋田信晴	印刷中
連続雨量に基づく通行規制・解除基準と土壌雨量指数によるそれの比較	共著	2019 年 11 月	Kansai Geo-Symposium 2019 論文集	小田和広・鳥居宣之・小山倫史・小泉圭吾・藤本将光	印刷中
現地モニタリング結果を用いた土砂災害危険度評価に関する研究	共著	2019 年 11 月	Kansai Geo-Symposium 2019 論文集	舘野祐一郎・藤本将光・小山倫史・鏡原聖史・鳥居宣之	印刷中
細粒土砂の移動を考慮した急傾斜地崩壊防止施設に関する研究	共著	2019 年 11 月	Kansai Geo-Symposium 2019 論文集	原田紹臣・藤本将光・小西成治・河野和人・水山高久	印刷中

研究発表等

発表題名	単著・共著の別	発行または発表の年月（西暦可）	発表会議名	発表者名
現地モニタリングに基づく事前道路通行規制基準の設定に関する研究	共著	2019 年 5 月	砂防学会研究発表会	舘野祐一郎・藤本将光・鏡原聖史・鳥居宜之・小山倫史
細粒土砂の流出防止を考慮した急傾斜地崩壊防止施設における擁壁構造の提案	共著	2019 年 5 月	砂防学会研究発表会	藤本将光・原田紹臣・小西成治・河野和人・水山高久
花崗岩山地源流域における流域界を越えた地下水流動の解析	共著	2019 年 5 月	砂防学会研究発表会	正岡直也・小杉賢一朗・藤本将光
清水寺後背斜面における豪雨時の降雨浸透特性に関する研究	共著	2019 年 5 月	砂防学会研究発表会	五井渉太・藤本将光・里深好文
室内実験に基づく斜面形状が崩壊現象に及ぼす影響の検討	共著	2019 年 5 月	砂防学会研究発表会	Qinxin・里深好文・藤本将光
斜面の基礎補強時における網状鉄筋挿入工（E.P. ルートパイル工）の高度化に関する実験的研究	共著	2019 年 5 月	砂防学会研究発表会	山本和輝・藤本将光・原田紹臣・玉木健太・高瀬蔵・小西成治・疋田信晴・里深好文
急傾斜地における崩土の衝撃力と対策に関する実験的研究	共著	2019 年 5 月	砂防学会研究発表会	高瀬蔵・藤本将光・原田紹臣・山本和輝・玉木健太・小西成治・疋田信晴・里深好文

知的財産権

名称	出願人区分	発明人区分	出願番号	公開番号	登録（特許）番号	国
土壌水量を用いた斜面崩壊危険度の簡易判定手法	本学共同		2015–102216			
透水試験装置および透水試験方法	本学共同		2013–193946			

研究業績書

対象期間	2019 年 1 月 1 日～ 2020 年 3 月 31 日	
所属	職名	氏名
衣笠総合研究機構	教授	益田　兼房

その他研究活動

研究業績名	単独・共同の別	発表場所等	研究期間（西暦可）
文化財と防災	単独	ヘリテージマネジャー養成講座，神戸市，京都市，千葉市	2010–2019 年
技術発展と日本建築史	単独	日本伝統建築技術保存会木工養成研修講座，東京都	2007–2019 年
パリ・ノートルダム大聖堂火災報告	単独	明日の京都文化遺産プラットフォーム・文化遺産危機管理研究会，京都市	2019 年 4 月 23 日
The SUGIMOTO Residence, Kyoto, Japan, The Heritage, History, Risk Preparedness	単独	ICOM General Conference DEMHIST Meeting，京都市	2019 年 9 月 5 日
Authenticity of Cultural Heritage and Disaster Risk Preparedness	単独	2019 International Lectures for Cultural Heritage，中国科学技術大学，台中市，台湾	2019 年 10 月 1 日
首里城火災と文化遺産の価値・Authenticity とは	単独	明日の京都文化遺産プラットフォーム・文化遺産危機管理研究会，京都市	2019 年 11 月 26 日

研究業績書

対象期間	2019 年 1 月 1 日～ 2020 年 3 月 31 日	
所属	職名	氏名
理工学部	教授	宗本　晋作

論文

著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月（西暦可）	発行所、発表雑誌（及び巻・号数）等の名称	編者・著者名	担当頁数
HAN'S VILLA	共著	2019 年 10 月	Architecture & Culture 461	Shinsaku Munemoto +SMA Korea +CTA（Local Architect）	pp.52–57
移動コストを考慮した街路ネットワークの媒介中心性分析	共著	2019 年 12 月	第 42 回情報・システム・利用・技術シンポジウム	北本英里子・山田悟史・宗本晋作・及川清昭	6 頁

研究発表等

発表題名	単著・共著の別	発行または発表の年月（西暦可）	発表会議名	発表者名
注視傾向に基づく点群を用いた街路の色彩の定量分析に関する研究	共著	2019 年 6 月	令和元年度（2019 年度）日本建築学会近畿支部研究発表会	○藤井理央・宗本晋作・山田悟史
注視傾向に基づく点群を用いた街路の色彩の定量分析に関する研究	共著	2019 年 9 月	2019 年度日本建築学会大会学術講演会	○藤井理央・宗本晋作・山田悟史
H house	単独	2019 年 11 月	2019 BUGAIK International Architecture Exhibition	Shinsaku Munemoto

その他研究活動

研究業績名	単独・共同の別	発表場所等	研究期間（西暦可）
エコプロ 2019 立命館大学展示会場	共同	東京ビッグサイト	2019 年 12 月 5~7 日

受賞学術賞

授与機関名	受賞名	タイトル	受賞年月（西暦可）
韓国建築家協会	2019 年大韓民国慶尚北道建築大展招待作家賞（最優秀）	H HOUSE	2019 年 10 月

研究業績書

対象期間	2019 年 1 月 1 日～ 2020 年 3 月 31 日	
所属	職名	氏名
文学部	准教授	村中　亮夫

論文

著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月（西暦可）	発行所、発表雑誌（及び巻・号数）等の名称	編者・著者名	担当頁数
自助・共助のための防災マップ作成ワークショップの実践と課題―北海道石狩市における水害・土砂災害を事例として―	共著	2019 年 7 月	地理科学（74 巻 2 号）	村中亮夫・浅妻裕・谷端郷・米島万有子・高橋伸幸	70–89
Strengths of Exaggerated Tsunami-Originated Placenames: Disaster Subculture in Sanriku Coast, Japan	共著	2019 年 9 月	ISPRS International Journal of Geo-Information（8 巻 10 号）	Yuzuru Isoda, Akio Muranaka, Go Tanibata, Kazumasa Hanaoka, Junzo Ohmura and Akihiro Tsukamoto	18 pages (Open Access Journal)

研究業績書

対象期間	2019 年 1 月 1 日～ 2020 年 3 月 31 日	
所属	職名	氏名
理工学部	教授	持田　泰秀

著書

著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月（西暦可）	発行所、発表雑誌（及び巻・号数）等の名称	編者・著者名	担当頁数
新素材で建設産業を立て直す～新材料（CFRTP）の挑戦を通して～	分担執筆	2019 年 10 月	日本建築協会		12–15

論文

著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月（西暦可）	発行所、発表雑誌（及び巻・号数）等の名称	編者・著者名	担当頁数
DEVELOPMENT OF CARBON FIBER REINFORCED THERMOPLASTIC STRAND ROD	共著	2019 年 4 月	International Journal of GEOMATE（16 巻 57 号）	Yasuhide Mochida,Yusuke Imoto	109 -115
文化遺産の免震レトロフィット化に関する研究 : 仮受け鋼管杭を用いる工事の工程管理について	共著	2019 年 7 月	歴史都市防災論文集（13 号）	伊原大貴・持田泰秀・包学文	1–6
日本のプレキャストコンクリートの普及に関する研究 - 日本の集合住宅や韓国・アメリカの現状を通して –	共著	2019 年 7 月	第 35 回建築生産シンポジウム	伊原大貴・持田泰秀	
STUDY ON STRENGTH ESTIMATION OF SOIL CEMENT USED IN THE EMBEDDED PILE METHOD BY ELECTRICAL RESISTIVITY MEASUREMENT	共著	2019 年 8 月	International Journal of GEOMATE（17 巻 59 号）	Yasuhide Mochida,Masato Matsuura	74–81
緊張力を導入する建築物の構造上の有効性に関する研究 ―熱可塑性樹脂を用いた炭素繊維複合材の活用 ―	共著	2019 年 11 月	第 13 回複合・合成構造の活用に関するシンポジウム	北川貴大・持田泰秀・櫻井祥人	

研究発表等

発表題名	単著・共著の別	発行または発表の年月（西暦可）	発表会議名	発表者名
Study on Unit Price of Temporary Supporting Method for Seismic Isolation Retrofit	共著	2019 年 2 月	The International Conference on Engineering and Applied Sciences	Daiki Ihara, Yasuhide Mochida
Study on Eco Recycling of Construction Sludge for Production of Improved Soil	共著	2019 年 6 月	The 2019 International Conference on Structure and Civil Engineering Research (ICSCER 2019) , Prague- Czech Republic	Yasuhide Mochida, Joshua O. Ogunbiyi
重曹添加のセメントミルクのブリーディングと圧縮強度に関する研究―ブリージング低減と電気比抵抗による強度予測 –	共著	2019 年 9 月	日本建築学会大会学術講演梗概集	持田泰秀・伊原大貴・松本洋・角田和明

電気比抵抗調査による流動化処理地盤改良工法における品質管理に関する研究流動化処理の完了管理値への適用	共著	2019 年 9 月	日本建築学会大会学術講演梗概集	持田泰秀・須々田幸治
プレキャストコンクリートの表層性能に関する実験的研究　その 1　表層透気試験の結果について	共著	2019 年 9 月	日本建築学会大会学術講演梗概集	新城智己・持田泰秀・坂田博史
プレキャストコンクリートの表層性能に関する実験的研究　その 2 表面吸水試験、電気抵抗率試験の結果について	共著	2019 年 9 月	日本建築学会大会学術講演梗概集	北川貴大・持田泰秀・坂田博史
浮上りを考慮した基礎の設計法に関する研究　－回転角を考慮した略算法（修正梁理論）の取り組み－	共著	2019 年 9 月	日本建築学会大会学術講演梗概集	峯本真・持田泰秀・植田謙三
STUDY ON THE PROPERTIES OF CEMENT MILK ADDED WITH BAKING SODA -COMPRESSION STRENGTH ESTIMATION FROM BLEEDING REDUCTION AND INITIAL ELECTRICAL RESISTIVITY-	共著	2019 年 11 月	The Fifth International Conference on Science, Engineering & Environment, Bangkok	Yasuhide Mochida, Joshua O. Ogunbiyi, and Makoto Minemoto

研究業績書

対象期間	2019 年 1 月 1 日～ 2020 年 3 月 31 日	
所属	職名	氏名
文学部	教授	矢野　桂司

著書

著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月（西暦可）	発行所、発表雑誌（及び巻・号数）等の名称	編者・著者名	担当頁数
文化情報学辞典	編集	2019 年	勉誠出版	村上征勝　監修／金明哲・小木曽智信・中園聡・矢野桂司・赤間亮・阪田真己子・宝珍輝尚・芳沢光雄・渡辺美智子・足立浩平　編	
Urban Abandonment and Housing Vacancies in Japanese Local Cities: A Case of Kyo-machiya, Traditional Wooden Town Houses	分担執筆	2019 年	Kubo, Tomoko, Yui, Yoshimichi (Eds.) The Rise in Vacant Housing in Post-growth Japan Housing Market, Urban Policy, and Revitalizing Aging Cities, Springer	Keiji Yano	111–122
The Shape of Japan: Backgrounds, Materials and Methods	共著	2019 年	Editors: Nakaya, Tomoki, Ito, Yuri (Eds.) The Atlas of Health Inequalities in Japan	Tomoki Nakaya, Keisuke Fukui, Yuri Ito, Keiji Yano, Yuzuru Isoda, and Naoki Kondo, Springer	9–28

論文

著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月（西暦可）	発行所、発表雑誌（及び巻・号数）等の名称	編者・著者名	担当頁数
京町家の空き家の現状と課題	共著	2019 年 3 月	統計（70 巻 2 号）	矢野桂司・佐藤弘隆（2019）	9–15
はいめに　特集　地理総合と歴史総合―何が変わるのか、どう向き合うのか―。	単著	2019 年 11 月	学術の動向（11 号）	矢野桂司	
Japanese Lexical Variation Explained by Historical Contact Patterns	共著	2019 年	ISPRS International Journal of Geo-Information（8 巻 9 号）	Péter Jeszenszky, Yoshinobu Hikosaka, Satoshi Imamura, Keiji Yano	
Transparent Collision Visualization of Point Clouds Acquired by Laser Scanning	共著	2019 年	ISPRS International Journal of Geo-Information（8 巻 9 号）	Authors: Weite Li, Kenya Shigeta, Kyoko Hasegawa, Liang Li, Motoaki Adachi, Keiji Yano, Satoshi Tanaka	
地理教育と GIS	単著	2019 年	東海地理（56 巻）	矢野桂司	1–6
書評：スマホと PC で見るはじめての GIS―「地理総合」で GIS をどう使うか―時枝稜・木村圭司著	単著	2019 年	地図情報（39 巻 3 号）	矢野桂司	
【書評】平井松午／編『近世城下絵図の景観分析・GIS 分析』古今書院	単著	2019 年	GIS- 理論と応用（27 巻 1 号）	矢野桂司	56–58

研究発表等

発表題名	単著・共著の別	発行または発表の年月（西暦可）	発表会議名	発表者名
地理教育と GIS	単著	2019 年 1 月	第 420 回例会	矢野桂司

バーチャル京都から見る三条通の景観変遷	単著	2019 年 1 月	第 42 回まちカフェ	矢野桂司
Geodesign in depopulation area: Yosano Town, Japan	共著	2019 年 2 月	International Geodesign Collaboration 2019	Kazumasa Hanaoka and Keiji Yano
歴史 GIS と新しい地理教育	単著	2019 年 3 月	GIS day in 関西 2019	矢野桂司
Historical paths of contact and isolation explain lexical variation in Japanese dialects	共著	2019 年 3 月	日本地理学会春季学術大会	Péter Jeszenszky*, Keiji Yano, Yoshinobu Hikosaka
公開シンポジウム「地理総合」で何が変わるか	共著	2019 年 3 月	公開シンポジウム「地理総合」で何が変わるか	矢野桂司・井田仁康・秋本弘章・浅川俊夫・久保純子
地方自治体は地理空間情報の宝庫：産官学連携の連携方法	単著	2019 年 7 月	PasCAL ユーザー会 In 関西 テーマ「空間情報の流通による行政の新たな役割～働き方改革の実現に向けて～」	矢野桂司
Japanese Map Warper for Spatial Humanities: The Japanese old maps portal site	共著	2019 年 7 月	International Cartographic Conference 2019 Tokyo	Keiji Yano, Satoshi Imamura, Ryo Kamata
Digital archiving the space and memory of Kyoto across space and time using GIS	共著	2019 年 7 月	International Cartographic Conference 2019 Tokyo	Naomi Kawasumi, Hirotaka Sato, Shunpei Yamamoto, Keiji Yano
Lexical variation in Japanese dialects revisited: Geostatistic and dialectometric analysis	共著	2019 年 7 月	International Cartographic Conference 2019 Tokyo	Péter Jeszenszky, Yoshinobu Hikosaka, Keiji Yano
Learning Method that Facilitates User Understanding of Changes in the Kyoto Townscape: Utilizing a Smartphone Application with the Kyoto City Tram and Bus Photograph Database	共著	2019 年 7 月	International Cartographic Conference 2019 Tokyo	Akira Takahashi, Shumpei Yamamoto, Hirotaka Sato, Naomi Kawasumi, Manabu Inoue, Keiji Yano, Asanobu Kitamoto
Giga-pixel multispectral imaging using commercially available digital camera	共著	2019 年 9 月	ICOM Kyoto 2019	Masaru Tsuchida, Hirotaka Sato, Takahito Kawanishi, Kunio Kashino, and Keiji Yano
High resolution image retrieval, browsing and visual guide system for museum using smartphone	共著	2019 年 9 月	ICOM Kyoto 2019	Masaru Tsuchida, Hirotaka Sato, Satoshi Imamura, Takahito Kawanishi, Kunio Kashino, and Keiji Yano
日本の古地図のポータルサイトの構築	単著	2019 年 9 月	地図展 2019　京都「近代京都 150 年を俯瞰する」	矢野桂司
京都地籍図データベースを用いた明治末期土地所有者の点分布分析	共著	2019 年 10 月	第 28 回第 28 回学術研究発表大会	青木和人・矢野桂司・武田幸司
日本の古地図のポータルサイトの構築	共著	2019 年 10 月	第 28 回第 28 回学術研究発表大会	今村聡・鎌田遼・矢野桂司
Visual Plant Simulation based on Transparent Collision Visualization of 3D Scanned Point Clouds	共著	2019 年 11 月	The 38th JSST Annual International Conference on Simulation Technology	Weite Li, Kenya Shigeta, Kyoko Hasegawa, Liang Li, Keiji Yano, Satoshi Tanaka and Motoaki Adachi
人文学における地理空間情報の可視化	単著	2019 年 12 月	じんもんこん 2019 公開シンポジウム　科学的知見の創出に資する可視化（3）：新しい文理融合研究を創出する可視化	矢野桂司

受賞学術賞

授与機関名	受賞名	タイトル	受賞年月（西暦可）
地理情報システム学会	2019 年度ポスターセッション賞	青木和人, 矢野桂司, 武田幸司「京都地籍図データベースを用いた明治末期土地所有者の点分布分析」	2019 年 10 月

研究業績書

対象期間	2019 年 1 月 1 日～ 2020 年 3 月 31 日	
所属	職名	氏名
文学部	教授	山崎　有恒

著書					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月（西暦可）	発行所、発表雑誌（及び巻・号数）等の名称	編者・著者名	担当頁数
人物からたどる近代日中関係史	共著	2019 年 6 月	国書刊行会	池田 維他編	pp255–271

研究業績書

対象期間	2019 年 1 月 1 日～ 2020 年 3 月 31 日	
所属	職名	氏名
理工学部	講師	山田　悟史

論文

著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月（西暦可）	発行所、発表雑誌（及び巻・号数）等の名称	編者・著者名	担当頁数
A study on the formation of environmental recognition by dwelling unit location and residential floor in collective housing in a super-high-rise building	共著	2019 年 3 月	Japan Architectural Review（2 巻 1 号）	Shichun Zong, Hirotomo Ohuchi, Toshihiro Kimura and Satoshi Yamada	
Deep Learning を用いた印象評価推定 AI の作成と検証 －街並み画像の街路名と訪問意欲を対象に－	共著	2019 年 5 月	日本建築学会計画系論文集（84 巻 759 号）	山田悟史・大野耕太郎	1323–1331
移動コストを考慮した街路ネットワークの媒介中心性分析	共著	2019 年 12 月	第 42 回情報・システム・利用・技術シンポジウム論文集	北本英里子・山田悟史・宗本晋作・及川清昭	掲載決定
移動コストを考慮した街路ネットワークの媒介中心性分析	共著	2019 年 12 月	第 42 回情報・システム・利用・技術シンポジウム論文集：論文 pp.114–117，2019.12，日本建築学会	北本英里子・山田悟史・宗本晋作・及川清昭	

研究発表等

発表題名	単著・共著の別	発行または発表の年月（西暦可）	発表会議名	発表者名
○○を学習した AI が作る○○風画像	単著	2019 年 3 月	知的情報処理技術習得セミナー「その 4：最適化・エージェント・ニューラルネットワーク入門」2019.3，日本建築学会知的情報処理技術応用小委員	山田悟史
デザインする AI，VR 建築理論を目指した基礎研究	単著	2019 年 3 月	関西建築技術研究会第 40 回 CAD 情報部会，2019.3，関西建築技術研究会	山田悟史
デザインする AI	単独	2019 年 6 月	建築再生展	山田悟史
Deep Learning を用いたデザイン生成 AI の支援による「人と AI の共創」に向けた研究　その 1　－任意の街並み・建築物の外観を学習して画像を描くデザイン生成 AI －	共同	2019 年 9 月	日本建築学会大会（北陸）学術講演梗概集（情報システム技術），pp.113–114，2019.9，日本建築学会	山田悟史・大野耕太郎
Deep Learning を用いたデザイン生成 AI の支援による「人と AI の共創」に向けた研究　その 2　－任意の建築物の外観のデザインを演算するデザイン生成 AI －	共同	2019 年 9 月	日本建築学会大会（北陸）学術講演梗概集（情報システム技術），pp.115–116，2019.9，日本建築学会	大野耕太郎・山田悟史

多次元グラフ理論による建築都市の定量把握	共同	2019 年 9 月	日本建築学会大会（北陸）学術講演梗概集（情報システム技術），pp.65–66，2019.9，日本建築学会	北本英里子・山田悟史・宗本晋作・及川清昭
一次救命を実施する非医療従事者の存在確率をふまえた AED の適正配置	共同	2019 年 9 月	日本建築学会大会（北陸）学術講演梗概集（建築計画），pp.517–516，2019.9，日本建築学会	中島昌暉・山田悟史・岩田伸一郎・江川香奈
注視傾向に基づく点群を用いた街路の色彩の定量分析に関する研究	共同	2019 年 9 月	日本建築学会大会（北陸）学術講演梗概集（建築計画），pp.809–810，2019.9，日本建築学会	藤井理央・宗本晋作・山田悟史
ヒューマンコンピュータインタラクション技術の建築デザイン分野への応用－建築分野の手仕事の感覚保存・再現－	共著	2019 年 12 月	第 42 回情報・システム・利用・技術シンポジウム論文集：報告 pp.98–101，2019.12，日本建築学会	小島尚之・山田悟史
現実と VR 空間における高さに対する知覚・印象の比較検証に基づく VR デザイン－ VR 建築理論に向けた空間デザインの基礎研究－	共著	2019 年 12 月	第 42 回情報・システム・利用・技術シンポジウム論文集：報告 pp.36–39，2019.12，日本建築学会	村上雅也・横田芙実子・山田悟史
VR 空間の印象に及ぼす現実空間とのリンクパターン－ VR お風呂－	共著	2019 年 12 月	第 42 回情報・システム・利用・技術シンポジウム論文集：報告 pp.32–35，2019.12，日本建築学会	横田芙実子・村上雅也・山田悟史
ボリュームモデルに任意のデザインソースのデザイン性を反映させるファサードデザイン AI	共著	2019 年 12 月	第 42 回情報・システム・利用・技術シンポジウム論文集：報告 pp.180–183，2019.12，日本建築学会	池之上慎吾・大野耕太郎・山田悟史
目的に応じたジェネレーティブデザイン AI の体系化	共著	2019 年 12 月	第 42 回情報・システム・利用・技術シンポジウム論文集：報告 pp.184–187，2019.12，日本建築学会	大野耕太郎・池之上慎吾・山田悟史
非医療従事者の一次救命の不確実性をふまえた AED・サインの適正配置	共著	2019 年 12 月	第 42 回情報・システム・利用・技術シンポジウム論文集：報告 pp.308–311，2019.12，日本建築学会	中島昌暉・山田悟史・岩田伸一郎・江川香奈

研究業績書

対象期間	2019 年 1 月 1 日～ 2020 年 3 月 31 日	
所属	職名	氏名
文学部	准教授	山本　理佳

研究発表等				
発表題名	単著・共著の別	発行または発表の年月（西暦可）	発表会議名	発表者名
旧軍施設の観光化―呉市・佐世保市の事例―	単著	2019 年 6 月	人文地理学会第 290 回例会（特別例会）「軍都の歴史と地理」（於愛知大学）	山本理佳

研究業績書

対象期間	2019 年 1 月 1 日～ 2020 年 3 月 31 日	
所属	職名	氏名
理工学部	教授	吉富　信太

論文

著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月（西暦可）	発行所、発表雑誌（及び巻・号数）等の名称	編者・著者名	担当頁数
Stiffness and damping identification for asymmetric building frame with in-plane flexible floors	共著	2019 年 9 月	Frontiers in Built Environment (Specialty Section: Earthquake Engineering)(5 巻 103 号)	K.Shintani, S.Yoshitomi, K.Fujita and I.Takewaki	pp.1–15
複数建物の微動計測データ群を用いた汎用的逆解析アプローチによる非構造部材の影響を考慮可能な新築建物の層剛性推定法	共著	2019 年 5 月	日本建築学会構造系論文集（84 巻 759 号）	吉富信太・佐田貴浩・岸本和貴・谷慎太郎・津田慎太郎	pp.609–616
振動計測に基づく伝統木造建物の部位別剛性及び質量の推定法	共著	2019 年 7 月	歴史都市防災論文集，Vol.13	佐々木俊彰・田淵敦士・瀧野敦夫・吉富信太	pp.31–38
3 次元立体解析モデルを用いた旧加悦町役場庁舎の耐震性能評価に関する研究	共著	2019 年 7 月	歴史都市防災論文集，Vol.13	浅野陽彦・吉富信太・中治弘行・須田達・向坊恭介・佐藤英佑・鈴木祥之	pp.15–22

研究発表等

発表題名	単著・共著の別	発行または発表の年月（西暦可）	発表会議名	発表者名
柔床仮定下の非構造要素を考慮した初期層剛性の推定法－複数棟の戸建住宅の設計情報及び微動計測を用いた検討－	共著	2019 年 6 月	2019 年度日本建築学会近畿支部研究発表会	谷慎太郎
3 次元立体モデルを用いた伝統木造建物の耐震性能評価に関する研究	共著	2019 年 9 月	2019 年度日本建築学会大会（北陸）	浅野陽彦
戸建て住宅の微振動実測データを用いた逆解析による非構造壁を考慮した層剛性推定モデルの構築	共著	2019 年 9 月	2019 年度日本建築学会大会（北陸）	吉富信太
振動計測に基づく伝統木造建物の耐震性能評価に関する研究	共著	2019 年 9 月	2019 年度日本建築学会大会（北陸）	佐々木俊彰

研究業績書

対象期間	2019 年 1 月 1 日～ 2020 年 3 月 31 日	
所属	職名	氏名
衣笠総合研究機構	専門研究員	石田　優子

論文

著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月（西暦可）	発行所、発表雑誌（及び巻・号数）等の名称	編者・著者名	担当頁数
マップコンテストによる子どもの防災・防犯・交通安全教育への取り組みの成果と課題――「第 12 回みんなでつくる地域の安全安心マップコンテスト」の事業報告――	共著	2019 年 3 月	立命館大学歴史都市防災研究所、京都歴史災害研究、第 20 号	谷端郷・酒井宏平・石田優子	pp.35–41
Consideration of issues and solutions related to the coexistence of cultural properties and the real life of the neighborhood	共著	2019 年 5 月	Emerald insight, Disaster Prevention and Management, Vol. 29, No. 1.	Yuko Ishida・Dowon Kim・Tatsuo Konegawa・Ryoichi Fukagawa	pp. 86–108
熊野参詣道伊勢路「横垣峠」を対象とした観光防災マップの作製	共著	2019 年 7 月	立命館大学歴史都市防災研究所、歴史都市防災論文集、Vol. 13	石田優子・今村聡・古根川竜夫・深川良一・中谷友樹	pp.245–252
斜面多点監視を可能にする省電力低価格な傾斜感知器の開発	共著	2019 年 7 月	公益社団法人地盤工学会、第 54 回地盤工学研究発表会概要集	石田優子・平岡伸隆・繁田知美・深川良一	pp.1971–1972
下層風が微地形の降雨特性に及ぼす影響―三重県熊野市清水谷において―	共著	2019 年 8 月	公益社団法人地すべり学会、第 58 回日本地すべり学会研究発表会講演集	酒井俊典・西井和晃・岡島賢二・玉置康大・石川昌幹・後誠介・石田優子・古根川竜夫・由井恒彦・阪口和之・片岡泰・長谷川謙二	pp.117–118
Effect of cement soil stabilization on the prevention of soil outflow from back of the bridge abutment	共著	2019 年 11 月	Proceedings of the 9th International Conference on Geotechnique, Construction Materials and Environment	Yuko Ishida・Shoki Takayama・Kazuyuki Izuno・Yoshifumi Satofuka・Taizo Kobayashi・Ryoichi Fukagawa	pp.320–325
セメント系固化材を用いた橋台背面流出防止対策に関する実験的研究	共著	2019 年 11 月	第 38 回日本自然災害学会学術講演会講演概要集	石田優子・田崎裕貴・高山翔貴・里深好文・伊津野和行	pp.179–180
安全安心マップ作成を通じた小学生親子の防災力向上と課題―「第 13 回みんなでつくる地域の安全安心マップコンテスト」の事業報告―（投稿中）	共著	2020 年 3 月	立命館大学歴史都市防災研究所、京都歴史災害研究、第 21 号	石田優子・酒井宏平・村中亮夫	
Prevention of soil outflow from the ground around bridge abutment using cement soil stabilization（投稿中）	共著		Journal of GEOMATE	Yuko Ishida・Shoki Takayama・Kazuyuki Izuno・Yoshifumi Satofuka・Taizo Kobayashi・Ryoichi Fukagawa	

研究発表等				
発表題名	単著・共著の別	発行または発表の年月（西暦可）	発表会議名	発表者名
熊野参詣道伊勢路「横垣峠」を対象とした観光防災マップの作製	共著	2019 年 7 月	第 13 回歴史都市防災シンポジウム	石田優子
斜面多点監視を可能にする省電力低価格な傾斜感知器の開発	共著	2019 年 7 月	第 54 回地盤工学研究発表会	石田優子
下層風が微地形の降雨特性に及ぼす影響―三重県熊野市清水谷において―	共著	2019 年 8 月	第 58 回（公社）日本地すべり学会研究発表会	石川昌幹
セメント系固化材を用いた橋台背面流出防止対策に関する実験的研究	共著	2019 年 11 月	第 38 回日本自然災害学会学術講演会	石田優子
Effect of cement soil stabilization on the prevention of soil outflow from back of the bridge abutment	共著	2019 年 11 月	9th International Conference on Geotechnique, Construction Materials and Environment	Yuko Ishida
Landslide and flood disasters caused by 2019 Typhoon 19th –Damage situations at Miyagi and Gunma Prefecture–	単著	2019 年 12 月	The 2nd Joint Workshop on Natural Disasters of Asia and Its Numerical Simulation	Yuko Ishida

その他研究活動			
研究業績名	単独・共同の別	発表場所等	研究期間（西暦可）
小学生を対象とした防災教育コンテンツを作成し、それを用いて防災授業、フィールドワーク、マップ作製講習を実施。	共同	広島県福山市立神村小学校	2019 年 8 月 –2020 年 3 月
防災フロンティア研究会 2019 年度シンポジウム「2019 年台風 19 号による豪雨災害の実態を知る」にて講演。タイトル：「立命館大学調査団の現地被災状況報告―群馬県・東京都における被災状況―」	共同	メルパルク京都	2020 年 1 月 17 日
滋賀地域地盤研究会にて講演。タイトル：「台風 19 号被害調査報告－宮城県および群馬県の被災実態－」	共同	立命館大学びわこ・くさつキャンパス	2020 年 1 月 23 日

研究業績書

対象期間	2019 年 1 月 1 日～ 2020 年 3 月 31 日	
所属	職名	氏名
衣笠総合研究機構	専門研究員	大橋　弘明

論文

著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月（西暦可）	発行所、発表雑誌（及び巻・号数）等の名称	編者・著者名	担当頁数
Suburban fortunes: outer suburban decline and balkanization in Tokyo Metropolis	共著	Under revision (1st revised version submitted)	Urban Studies	Ohashi, H. and Phelps, N. A.	
Diversity in decline: the changing suburban fortunes of Tokyo Metropolis	共著	Under revision (2nd revised version submitted)	Cities	Ohashi, H. and Phelps, N. A.	

研究発表等

発表題名	単著・共著の別	発行または発表の年月（西暦可）	発表会議名	発表者名
Transit Oriented Development (TOD): Japanese Experiences and Beyond	単著	2019 年 12 月	2nd Collaborative Workshop on Housing and Urban Development in Osaka	Ohashi, H.

研究業績書

対象期間	2019 年 1 月 1 日～ 2020 年 3 月 31 日	
所属	職名	氏名
OIC 総合研究機構	専門研究員	酒井　宏平

著書

著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月（西暦可）	発行所、発表雑誌（及び巻・号数）等の名称	編者・著者名	担当頁数
A Study on Gaming of Participatory Evacuation Planning in Tourist Area using Agent Simulation, in Hamada Ryoju, Soranastaporn Songsri, Kanegae Hidehiko, Dumrongrojwatthana Pongchai, Chaisanit Settchai, Rizzi Paola and Demblekar Vinod (Eds.) “Neo-Simulation and Gaming Toward Active Learning”	共著	2019 年 11 月	Springer Science Business Media	Sakai Kohei, Shimizu Hiroari, Toyoda Yusuke and Kanegae Hidehiko	276–286

論文

著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月（西暦可）	発行所、発表雑誌（及び巻・号数）等の名称	編者・著者名	担当頁数
マップコンテストによる子どもの防災・防犯・交通安全教育への取り組みの成果と課題：「第 12 回みんなでつくる地域の安全安心マップコンテスト」の事業報告	共著	2019 年 3 月	京都歴史災害研究（20 巻）	谷端 郷・酒井宏平・石田優子	35–41
Mitigating Simultaneous Returning Home after Large-Scale Earthquakes: Changing Tourists’ Intentions to Stay through Public Support	共著	2019 年 12 月	IOP Conference Series: Earth and Environmental Science（361 巻）	Kohei Sakai, Yusuke Toyoda, Hidehiko Kanegae	012004

研究発表等

発表題名	単著・共著の別	発行または発表の年月（西暦可）	発表会議名	発表者名
A Study on Evacuation Method Using Agent Simulation Based on Tourists’ Behavioral intention	共著	2019 年 7 月	Silk Cities 2019	Kohei Sakai, Hidehiko Kanegae
訪日外国人観光客の防災意識に関する研究：京都市を事例に	共著	2019 年 9 月	日本地域学会	酒井宏平・鐘ヶ江秀彦